男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6—429

廓清

第二十卷　第一號

□反省自覺の秋……廓清會長　島田三郎
□助長する勿れ……一條忠衛
□第四十五議會の考察……辯護士　布施辰治
□民法學者の國際關係觀　法學博士　穗積重遠
□惡化せる近來の思潮　廓清會理事　高島米峰
□新年は新しき機會……救世軍大佐　山室軍平
□道德化せる不道德……立敎大學長　元田作之進
□妾の節操を抵當に……白萩
□商工青年の二大要件……内務省囑託　生江孝之
□大隈侯を惜しむ……早大敎授　内ケ崎作三郎
□婦人と健康……實踐女學校校長　下田歌子
□謎の吉原日記……元吉原病院看護婦　田口和子
□編輯之後……江南

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

麗しき元旦
汲むは若水
使ふは
ライオン歯磨
口はせいせい
心はさわやか
雑煮の味のよさ。

ライオン歯磨本舗 株式会社 小林商店
支店 大阪 名古屋
代理店 上海

廓清
THE PURITY

第十二卷第一號

大正十一年一月

反省自覺の時

廓清會長　島田三郎

□日本の誤れる自負心

我が日本は偶然の機會から一躍して大國の列に入つた。一面から觀れば一大利益を占めた樣であるが、他の一面から見れば頗る不利の位置に立つて、一歩を誤れば非常な困厄に陷らんとしてゐる。要するに内に充實した力ありて伸びたのでなく、世界の變化に機會を得て、實力以上の發展を遂げたのである。是は個人としては修養を積まざる者が、意外の虚名を得た如く、資金乏しき者が大事業を計畫して大看板をあげた如きもので、決して安全といふを得ないのみならず、一度躓けば一大不幸の運に會せねばならぬ。

日清戰爭以後、我國は東洋に興國の日本ありと世界に認められたが、三國干渉の結果一時その勢威を挫かれて、内には臥薪嘗炭の聲が聞えて、是非共此の國辱を雪がんとの、激昂の念が滿ちてゐたから、幸に驕慢の氣風は起らなかつた。然るに日露の戰爭に於て、久しく西歐を脅威した世界の大陸軍國地球陸部の六分の一を占めてゐる强大の露國を破つた。是が爲めに日本は常勝軍の國であるかの如くに、自負心が極めて强くなつた。此に於て内外の形勢は一轉した。外は軍國主義の恐る可き日本であるといふ恐怖心を列國が懷くことゝなつて、多年親昵せる米國は日本を押へねばならぬといふ思想の變化を起した。内は米國何者ぞ、歐洲諸國何者ぞ、と頗る驕慢の氣風を生じた。是に迷信が加はつて日本は世界を支配する天運を有てゐるといふ説をなす者があり、その最も笑ふ可き變態思想は凝つて大

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

本教を現出する迄になつた。之は單に大本教として笑つて止むべきでなく、日本の全體の思想が、斯かる思想を生じたのであることを知らなければならぬ。其の一證は之に多くの軍人が歸依したのを見ても分るのである。

□空虛なる膨張の悲哀

此秋に當つて世界の大戰が起つた。西歐諸國は獨逸の脅威を受けて、特に英國は東洋方面の不安を感じ、條約によつて日本の援助を乞ふに至り、日本は獨逸の勢力を青島より一掃して、更に其海軍は聯合軍の輸送を助けたから、國力は大に揚がる形となつた。是と同時に歐羅巴は殖產工業が萎縮したから、日本の貨物は高價を以て多額の輸出をなすことが出來た。金貨は雨の如く日本に這入ることゝなつた。其の結果力に於て富に於て、富強の外觀を呈した。識慮ある人から觀れば、一時に日本の力が增したのではない。境遇によつて斯の如き變化を生じたのであるが、一般公衆は日本が一時に世界の富強國となつた如く考へ、更に勢力より得たるものに非ずして、一時の景氣に得た處の富に驕奢の心を生じ、精神は弛み惰氣は生じ、之を誡むるものゝ聲は社會に反響なくして、政府の放漫政策によつて驕奢を助長するのみであつた。此間に養はれた氣象は極めて他日に有害なる反動を含んで居つた。

戰雲散じて干戈一度收まるや果然反動は來つた。列國は日本の俄に得たる勢力を嫉むの風があつた。倨傲不遜の態度に向つて嫉妬猜疑の眼を以て對すれば、其の結果知るべきである。浮說は日本に不利の結果となつた。日本は第二の獨逸である。侵略主義の日本であるとの聲が高まつて、日米戰爭の說さへ傳はることゝなつた。唯米國のみでなく列國は日本を世界平和の攪亂者の如く考へるに至つたのは之が爲めである。

內を顧みれば、實力に過ぎたる驕奢の風潮は、反動來と共に生活困難の窮狀に陷つた。列國は戰爭の間に要心して物價の調節をなしたが、日本は絕えて此事なくして物價を調節せざるのみならず、却つて通貨を膨脹して其勢を煽つたから、繁昌の時さへ米騷動が起つた位だからその反動時代に於て、社會が各種の難問題に打突かつたのは當然である。物價は下落せずして商工業は振はず、失業者は續出する。輸入は超過する。現在の狀況に於ては今後もなほ此勢ひは引續くであらう。政府に一定の政策なきが爲め、財政を顧みずして過大の軍備を計畫し、世界海軍の競爭の一國となつた。勢ひに驅られて財政は膨脹し、豫定の計畫を實行する爲めには、此の上增稅しなくてはならぬ。騎虎の勢ひ止まる處を知らず。內には生活の難問題あり、外には軍備競爭の困難がある。識者の憂慮は前途を如何にすべきかと痛心するに拘らず、一般國民は秘密政治の下にあつて、政治の運用を知らないから其過てる原因を考へずして其の結果の困難をのみ苦惱して居つた。

□個人道德と國際道德の進步

然るに日英同盟の條約期限が盡きんとして、その結果の變化より華府會議を開くことゝなつて、世界の三大海軍競爭國の造艦を制限するのが、先づ以て議題となり、日米間の爭因

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の一なる支那問題が併せて論ぜらるゝことゝなつた。

日本に取りては此事は極めて好き機會であつた。若し政府に一定の政策があつたらその結果は大なる收獲となり得たてあらう。自分は元來理想に於て軍備撤廢論者である。個人の決鬪が止んで裁判に決することゝなつたのは社會進化の理法が人事を支配する結果である。同じ論法が國際間に成立すべきは當然の順序である。古來明哲の士が屢々絶對の平和を唱へて戰爭を廢止せんとしたが、個人間の道徳は進んでも國際間の道徳は幼稚であつた爲め行はれなかつた。併し人文の進歩は戰爭そのものが人類の破壞であることを證明してゐる。昔の戰爭は勝つた方が得、負けた方が損で、勝てば人を奴隷にし財貨を奪つたのは、恰も蠻野の時代掠奪を事としたと同一であつて、今日は個人の間に掠奪が許されないで、法律によつて罰せられる。商賈は双方の利益であり貨物を交換して共に幸福を享くる、同じ理法が國際間に行はれなければならぬ。今その實例が最も明白に戰爭に現はれた。同盟國の中心たる獨逸が敗れ、聯合國が勝利を占めたが、獨逸、墺匈國、露西亞の景氣が恢復せねば、世界の景氣は恢復せぬ。之れ勝者敗者共に戰爭の爲めに蒙る慘害である。

科學の進歩は空中にも水中にも人を殺す猛烈なる器械を運用する。毒瓦斯や毒液を撒布して一時に百千人を殺す。此上科學の進歩によつて益々人を殺すの術が講ぜらるゝ。是は一人の無籍の病者をも、病院へ收容する時代に於て、到底看過すべからざる矛盾である。是を思へば國際裁判により戰を防がねばならぬといふのは、人情と事實との上から當然の結果である。

□天與の幸機と外交の拙劣

併し乍ら人の蠻性は一時に除くことは出來ぬ。故に軍備の制限は撤廢の段階である。外交によつて戰爭を防ぐのは、やがて道徳によつて戰爭を防ぐの段階である。歐羅巴は戰爭に懲りて泌み々々平和を望むの思想が沸いてゐるけれども、その禍を受けぬ太平洋方面は覺醒して居らぬ。此秋に於て華府會議が起つたのは眞に天與の幸機である、先以て日英米間の軍備を制限する。英米を各十として日本を六とする割合の原案であつたが、日本の態度は甚だ見苦しかつた。その折衝は確に失敗であつた。

若し此の提案に對して、日本は六でも差支ない。但し我國の眞の希望は恒久の平和にあるのだから、日米間五千哩を隔つる間に介在する布哇グアム比律賓等の防備を撤去せよ、と云ふたら如何であつたか、殆んど堂々たるものであつたらう此の足溜りなくして兩國の戰は不可能である。故に此の主張は名に於て日本は平和を愛好する者となり、實に於て六七割以上の安全を保ち得ることゝなる。此の立場から云へば、飛行機投下の爆裂彈、潛航艦をも禁止したい。飛行機そのものゝ軍用を禁止したいのである。此の如く軍備制限以上の極度の平和仁愛主義を以て世界に日本民族の崇高なる氣象を宣布して欲しかつた。

假令其實行が直ちに現出しないにしても世界の人々は日本の理想に敬意を拂つて、歐羅巴の文明の程度を睥睨し得たて

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

あらう。然るに事茲に出てずして七割を要求して得られず、區々戰艦の爭ひをなし、陸奥一隻に執着して、之が爲めに英米をして二隻づゝ現案より增加せしむることになつたのは折角の軍備制限の效力を減殺せしめ、軍備制限の會議中に軍備競爭の氣分を實現するの矛盾に陷り、且つ我は一隻殖やし彼は二隻殖やして戰の上に何の强味にもならなくなつた。何等の拙何等の愚てあらう。

それよりも九分通り出來た戰艦すら破壞するといふなら、半成の防備を破壞することが出來ない理由はないと主張したかつた。論據を此處に置いて、米國の半成の島嶼の防備を撤廢せしめたら、日本の安全の爲めには一層有利であらう。

□根本思想上の問題

要するに斯の如きは、他日期限が盡きたら又競爭の境に入るてあらうといふ信念が、心の底にあるから不徹底な末の論になるのである。日本が世界に雄飛せんとするなら、徹底的平和論の上に立つ可きである。然らば侵略の日本とか軍國の日本とか、紛々たる排日の口實を一掃したであらう。理想なきものは形式に捕はれる。自分の信念より云へば確に十年以後には國際の爭議を裁判に決する程度に迄進むであらう。斯く云へば好戰者…表に平和を唱へて裏に軍備を擴張せんとする…は我等の此理想を空論なりと言ふてあらうが八々艦隊に全精神を注いだ人から見れば、進水した軍艦を破壞する思想が起らうなどゝは夢想だもしなかつたことである。それが今日實現したてはないか。

今日既に廢せられる個人の爭決鬪に定めんとする蠻制を恢復再興せんとする狂人はない。進化、理法に從ひ社會の進運に伴ひて人の氣力を文化、進歩傾注することゝしたら現存する種々の害惡を著しく減殺することが出來る。卽ち先づ造艦費を轉じて育英の教育費に充て、スコラーシップを設定して貧民の英才をも大學迄教育することが出來る。義務教育を延長して補習學校を作り、勞働時間の餘暇を以て補習學校に入れ、希望ある者は貧しと雖も中學の程度迄與かるやう無月謝を以て教育することは決して空想ではない。斯くして人の能力を出來得る限り平均すれば、自然に貧富の懸隔は緩和される。社會主義者の喧しく論ずる處の貧富の問題も、教育の力によりて或程度迄緩和されるのである。詳かに論ずれば種々の個條に亘るが、大體に於て社會の改善の理想は斯くして開導せんこと切望に堪へない。

前に述べたるは自分の持論である。不充分ながら社會人心の嚮ふ所は、俗氣紛々たる政治家をも導いて、兎も角も愚劣極まる軍備を制限することの出來たのは、せめてもの慰安てある。更にその方針によつて陸軍そのものも充分に限定し、時に表はるる事件を鎭定する丈の兵力に止めたい。國際の爭議は最近の同盟國對聯合國の戰爭をもつて、終りの戰爭にしたいものである。

なほ華府會議の總評に就てはその決定を待つて細論を試むるてあらう。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

助長する勿れ

一條忠衛

一　生命の發育

年が明けて新しくなつた。一陽來復して春にならうとして居る。太陽暦から算へれば二月にならなければ春ではないけれども、一月になれば最う春に近い日に達したのである。吾々はこの頃になると何とも言へぬ好い心地になるのである。これは人間が久しく虐げられた冬籠の生活を營んで居たのが次第に陽氣のゆるむに順つて温暖な天地を招來する歡びからである。一度び靜寂な無爲の世界に隱遁して居た生命が俄に平和の樂園に於て解放されて、活動の時機に入るからである。

禮記の祭義には「春、雨既に濡ふときに君子これを履んで必ず怵惕の心あり」と書かれて居る。先づ春になつて雨が降れば地下に休息して居た諸々の草木は一齊に芽を出して來るのである。然るに吾々は知らずしてこの生命を足で踏み付けたりすると、アッといふ實に勿體のない氣の毒な可愛想な氣持になるのである。折角宇宙の大自然によつて孚まれて居ることの神秘な生命を無下に蹂躙したことは、君子の到底痛まずには居れない所である。怵惕の心を促がすのは自然の人情であり、天地の攝理に對して敬虔の精神を懷くのは無理のない次第である。

年が改まつたその上元に於て、上帝を禴するはその心境からてある。專ら天地の生命に對して惻隱の心を以てこれを迎へるのが目的である。然るに小人はこれに戻るのである。新年を濫用してこれを己が享樂の具に供するのである。酒を飲み、女に戯れ、歌へや舞への無禮講を以てこの吉辰を弄ばうとするのである。殊に新年の花柳界は何れの巷でも遊野郎の蝟集する樂園になつて居る。彼等には自然の萬物に對して怵惕の心といふものが無く惻隱の情といふものが無く、人を方便として顧みず。世を奴隷として飽くことを知らぬ連中である。實に新年を冒瀆して上帝を欺くことの甚だしい者である。だから新年は君子の爲めには修徳の好機會であるが、小人の爲めには實に惡徳の門である。吾々は願くはこの新年をして正義の搖籃たらしめ、仁慈の源泉たらしめたい。萬物を發育して餘すところなく、その生命を愛護して倦むこと無からしめたい。これ吾人が年頭の感である。

二　日に新なる人生

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日月が運行して一たびは寒く一たびは暑く、三百六十五日を經て一年となり、三萬三千日を以て百年の人生を成すは、是れ皆な一日の積集した賜である。百歳の老人は一朝にして老じたのではない。その日〳〵に長じたのである。初めて呱々の聲を擧げた時と棺に掩はれた時とは實に隔世の觀があるけれども、その日〳〵を取つて較べて見ればそこには何等の差異もない。羅馬は一日で出來たのではなくて、その日〳〵の勤勞によつて出來たのである。

これから推して考へれば、人生は決して例外な發達を爲すものではない。突飛な行動によつて完成されるものではない。昨日の紅顔の美少年が明日になつて俄に白髪の老人になるのではなく、樹上に住む裸體の蠻人が一躍して鐵筋コンクリートの家に住むフロックコートの文明人になるのでは無い。必そこには一定の努力と一定の階段を經て來なければならない。二三ヶ月で速成させた豚は美味しくないやうに、無理に大人びた事を教へ込んだ子供は早熟して性慾を覺え、十歳の神童も二十歳の才子となり、三十歳になれば碌々として世間の厄介になる類が多い。苗を早く成長させたい爲めに苗代に行つて御念の入つたことには一本づゝ引き拔いて遣つた親爺があつたが、子供が行つて見たら苗は赤茶けて枯れて居たと云ふ昔話がある。

湯王はその盤の銘に「苟に日に新なり。日に日に新にして又日に新なり」と彫り付けて置いたと傳へられて居る。吾々はこの人生に於て無暗に焦つてその目的ばかりを追求したがる爲めに肝腎な足許を油斷する癖がある。啻に理想をのみ標榜して現實を忘れることが多い。秋の豐熟をのみ欲して春夏の勞働を厭ふ傾向がある。これは皆な物の本末を知らず、事の輕重を辨へぬが爲めである。君子はその本を立てゝ道を生ずるのである。人生の大なる理想を實現するには、それを將來に期するのでは無くて、その日〳〵の行爲の中に求めるのである。先づ日常の行爲を改善して修德に勉焉たる時々刻々の生活を積集することによつて、理想の彼岸に到達するのである。十有五にして學に志し、三十にして立ち、四十にして惑はず、五十にして天命を知り、六十にして耳順ひ、七十にして心の欲するところその矩を踰えざる境地に達するものでは無くて、日に日に新になつて行く結果であつて、日進月歩の賜である。

程伊川は言つた、「君子の學は必ず日に新なり。日に新なるものは日に進む。日に新ならざるものは必ず日に退く。未だ進まずして退かざるもの有らず。唯だ聖人の道は進退するところなし。その造たる所のもの極あるを以てなり。」と。實に至言である。吾々は人間の學を日に新にして、進退するところなき人道を體得しなければならない。

三　廓淸の原理

人生の至善に對して日に日に新にして又日に新にすることは、是れ人格の廓淸である。社會の廓淸はこの人格の廓淸から始まらなければならない。大學に、

「明德を天下に明にせんと欲する者は先づその國を治む。その國を修めんと欲する者は先づその家を修む。その家を

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

修めんと欲する者は、先づその身を修む。その身を修めんとする者はその心を正しうす。その心を正しうせんとする者はその意を誠にす。」

とあるのは、この邊の眞理を道破した言である。掠奪と僞善と破廉恥と不品行とを身に纏つて、鎧を着たやうに身動きも出來ぬ恰好では、社會の廓清は出來ない。

それから現代に於ける社會の廓清は二三の先覺者によつて成就されるやうな安價なものではない。賢愚聖凡の差別なく自ら自己を廓清することで無ければならない。人格自治の實現が廓清の本體で無ければならない。然るに世間には一種の英雄崇拜論者があつて二三の先輩によつてこの社會が廓清されるものと思ひ込むのである。さう云ふ人達は自分の理想を實現すればこの社會は一氣呵成に刷新されると誤信するのである。自分は身を修め、正心誠意を以て人類の改造を熱望するのであるから、自分のこの大理想をこの不完全な社會に實行すれば、この社會は忽の中にその裝を替へて眞實の世界になつて現はれると思ふのである。

斯ういふ人達は多くは唯物論者である。人間の道德は各人の自治によつて、その身を修め、その心を正しうし、その意を誠にする結果であることに想到せずに、二三の先覺者の力によつてこの社會組織を變革することによつて、人間の修身も正心誠意も求められるものと想像して怪しまないのであるけれどもこれは非常なる誤解である。孔子のやうな聖人であつてすら、十五にして學に志し、不惑、知天、耳順の修養を經て七十になつて始めて眞の人格者になつたとすれば、經濟組織の變革によつてこれを期待することは空想の甚だしいものである。

吾々は斯樣な空想に驅られて、一氣呵成な社會廓清の運動を試みることは大に避けなければならない。マルクスやクロポトキンやレーニンの理想に憧れて、人間の修身、正心、誠意を人類に求めようとすることは不合理の甚だしいものであることを悟らなければならない。掠奪と僞善と破廉恥と不品行とを寄せ集めた現代社會を廓清するには、二三の思想家や實行者の手を煩はさずに、各人が銘々に自己を改造して身を修め、心を正しうし、意を誠とすることに努力すれば足るのである。人生の至善を目的として、自己の人格を日常の生活の中に實現して行けばそれで十分なのである。凡らゆる道德の進步と發達とによつて、この社會は廓清されるものであつて、一二の政治家の政策などによつて左右される性質ものて無いのである。個人が道德的自覺に達して正義の聲に眼醒め、人道の眞體に觸れた時でなければこの社會は廓清されないのである。

吾々は最早唯物論的な革命などを夢想すべきでは無い。飽く迄も最高善の敎へる規範に率由して、社會の個人が有らゆる道德の上に實踐躬行することによつて、この社會を改造すべきである。孟子は「道は邇きにあり、而して諸れを遠きに求む。事は易きにあり。而してこれを難きに求む」と云ひ、荀子は「道は邇しと雖も行はざれば至らず、事は小なりと雖も爲さゞれば成らず」と云つた。吾々は先づ修身、正心、誠意といふ足許の第一歩から踏み出して、人格的自覺に到達す

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ることによつて、この穢惡の社會を廓淸しなければならない。

ところが斯ういふ間違つた事をいふ人がある。現代のやうな醜惡の社會に居ては八重襷のやうな社會制度によつて束縛されて居るから、それを剪除し得る道德は生れて來ないのである。こんな社會に居ては人格の實現は迚も不可能である。一氣呵成な革命より外に道がないと。併しさういふ考は亂暴である。道德といふものは時代の社會から作られることもあり、その時代の社會を辯護して居る場合もある。けれども、道德は人間最高の理想であるから、これを道德的に審究してその學說を改造して行くことが出來る。この改造された道德を實踐躬行することによつて、この穢惡の社會は廓淸されて行くのである。

ところが斯ういふことを云ふ人がある。その改造された道德は到底この現代社會の道德と相容れるものでは無い。現代の社會制度を脅す虞があるから、御用道德によつて放逐される運命があると。けれども、それは杞憂に過ぎない。現代の社會は如何に罪惡に滿たされて居ても、現在に滿足して居るものでは無い。何とかしてこれを匡正したいと思つて居る。如何に御用道德であつても、道德である以上は常に進步を愛し向上を希ふものであるから、發達した見地に立つて居る道德に對しては攝服せざるを得ない關係がある。

これは力を以て人を服するのでは無くて、心を以て人を服するものである。革命家のやうに無理遣りに力を以て人を服さうとすれば、力の足らぬ者は仕方なしに服するかも知れない、けれども、一步々々に極く卑近な瑣事から實踐躬行して行くのであるから、眞に心服させることが出來るのである。何人にも納得される極めて健實な方法に由つて進行するのであるから、最も圓滿に社會の廓淸が行はれるのである。隨つて石橋を叩いて渡り、一步々々に道德の平野を擴張して行くので、人格の實現と社會の廓淸とは同時に行はれ、而も永劫無限に安定な地帶に存置されるのであるから、何人もこれに參加して其の社會文化の事業に投ずることが出來るのである。これは革命家のやうに難きを人に求めるのでは無くて、易きを人に求めるのであるから、入り易く行ひ易いのである。

四　道德の進步

道德の進步はこれを譬へたならば、牛の步むやうなものである。蝸牛の竿を昇るやうなものである。遲々として果取らないのが道德の特徵である。それで性急な落付きのない人々は道德を冷淡に見たがる癖がある。道德の修養は俄かに出來ない事情から自暴自棄に陷る者がある。道德といふものは猥に人に苦しい事を强要するもので、實際に於ては法律よりも値打のないものであると想像して居る。法律に從つて居れば道德などは何うでも宜しいと考へて居る人も多い。又道德は極めて曖昧なもので、社會を廓淸するに足るやうな權能を有するものでは無い。何時の時代でも社會の革命によつて順致されるものであつて、道德それ自身の進步とか向上とか云ひ得るものは殆ど見出されないと考へるのである。けれどもこ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

れは道德の何たるかをまだ知らないことから來た淺見である自分の精神に落付きが無い爲めに、道德それ自身を靜觀することの出來ない狀態である。

少しく心を落付けて道德を靜觀すれば、道德の進歩はあり〱と了解される。老子は道德經に於て「九層の臺は累土より起り、千里の行も足下より始まる」と云つて居る。道德と一緒にこの人類の歷史を歩いて來るやうな心持になつて見ても解るし、酒僻に陷つてその習慣を容易に脫することの出來ぬ境遇を想像して見ても解るし、惡名を馳せることが容易で美名を博することの六敷い次第を想到して見ても解る。個人の人格の進歩も社會の道德の進歩も、これを自己の經驗や歷史上の經驗に照して見れば、現代の道德は非常に進歩したものである。一方に於ては非常に墮落して居るやうに見えるかも知れないが、それは理想の標準が高くなつたからさう見えるのである。

今度の世界戰爭もさうであつた。地球上に未だ嘗て類例のなかつたほど大仕掛な人殺を行つたので、人類の最大なる墮落のやうに想像するかも知れない。併し乍ら實際に於てはさうで無かつた。敵も味方も別に遺恨があつて戰つて居たのでは無かつた。一部の權力者の命令によつて仕方なしに戰つて居たのである。人を殺すことを否みながら殺して居たのである。つまり時代遲れな權力者に脅かされて詮方なしに人を殺して居たのである。その結果は戰爭それ自身を愛するどころか大にこれを嫌つて居たのである。再びこんな馬鹿げた不仁の行を人類は爲すべきもので無いと思ひながら、戰線に立つて戰爭を呪詛して居たのである。これを昔の戰爭が人を殺し城を傾けることを勇み好んで、歡呼の裡に闘つて居たとは同日に論ずることは出來ないものである。如何に巨艦巨砲を作り飛行機を飛ばして殺人の行爲を容易ならしめるからと云つても、この機械を運轉する兵卒等がこれを馬鹿々々しく思ひながら使用して居たとすれば、今次の世界戰爭は既に人間の良心に於て懺悔して居たものであつた。親に別れ、妻に別れ子に別れて、尙ほ且つ自己の生命まで捨てゝ、これと同樣な境遇に居る人間を敵として戰はねばならぬことの如何に無意味にして如何に不見識なものであつたかは、從事者の竊しく味つた道德的經驗であつた。

それて戰爭は今や人間の良心に於ては既に撤廢され、軍備は全廢されて居るのである。假令戰爭を讃美する軍國主義者であつても、人類の正義人道の上からはこれを讃美することは出來なくなつて來たので、單に國防とか愛國とか云ふ護身用に過ぎない感じを與へられて居るのである。人を殺したり土地を侵略したりすることは、如何なる軍人と雖も戰爭の目的ではないと斷言して憚らぬ時代になつて來た。これは實に道德の進歩であつて最も悅ばしい時代に到達したものである國際聯盟の生じたのもその結果であつたし、今度の華盛頓に開かれた四國協商もこの精神からであつた。軍備を制限する心もこれを更に全廢しようとする心も、人間の良心に於ける怵惕惻隱の心であつて、道德の向上した結果である。さう云ふ馬鹿々々しいことに巨額の費用を使つたり、無數の人民を犧牲にしたりすることは人道に反する行爲だといふ社會道

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

德の聲が勝利を占めて來た爲めに、戰爭が存在の價値を失つた形である。軍艦を解體し飛行機を燒却し軍隊を解散した國防の必要なき時代の到來は道德上から想像すれば必ず來なければならぬ性質がある。人を殺すことや金錢を浪費することが惡事であると知りながら、國防の目的からしてこの惡事を手段として神聖化する道德の矛盾に惱まずには居れなくなつて來るのである。さう云ふ矛盾した人生は人間の究理心に於て承服することの出來ぬものになつて來るのである。これは何の爲めであるかと云ふに、實に人格觀念の發達した結果である。

五　人格觀念の發達

この現時の世界道德を大觀すれば、その進步は以前とは同日に談ずることの出來ないものがある。現代の倫理思想から見れば人間の人格といふものが、世人の間に非常に尊重されるやうになつて來た。人格のない奴だとか、人格に缺點があるとか云はれることは、無上な恥に思ふやうになつて來た。過去の人類はこの人格といふものを能く辨へて居なかつたのである。これを體得して居る者は極めて稀であつた。然るに今日ではこれを辨へて體得して、人生一切の行爲を人格活動の發現として目するやうになつて來た。人格は目的であつて方便でないことが能く一般の社會に知られて來た。權力者の爲めに自由を束縛されることにも贊成せず、自己の勞力を賣買することすら屑とせざる時代となつた。

それで自分の人格を實現する爲めに他人の人格の實現を阻害することは、極度の罪惡であると見做されるやうになつて來た。隨つて他人の人格の實現を愛して遣ることは、自己の人格の實現を愛することゝ同一の價値を生じて來た。その結果として正義の觀念も變つて來た。單にこれを個人的正義と考へて居たものが社會的正義となり、更にこれを合一して人格的正義と解するやうになつて來た。利己と利他とは能く協調して、機會均等の間に各人の天賦を發揮することが人生の至善になつた。

それが爲めに、過去の社會に於て掠奪者と被掠奪者とが階級爭鬪を爲して居たのが、次第に無意味になつて來た。勞働者とか、資本家とか、强國とか、弱國とか云つて、自己の利益を庇護する生活手段は現代の進步せる良心から見れば唾棄すべきものになつて來た。その結果は社會の廓淸はこれを革命のやうな一氣呵成の手段に俟つべきもので無いことが自ら明になつて來た。道德の進步は假令牛の步むやうに遲くとも今や千里の行によつて自己の人格を實現する爲めに他人の人格を奴隸にすることの不合理なことは、能く世間周知の事柄になつた。斯樣にして人格の觀念は昨今非常に人類の間に普及されて來た。そして社會の凡らゆる廓淸はこの人格の觀念によつて次第に成就されて來るやうになつた。

その結果として過去の社會が造つた諸制度は今尚ほピラミッドのやうに現代の社會を裝飾して大伽藍の態を爲して居るけれども、それは習慣の惰性として殘存するに過ぎないので現代人の意識を支配するに足る權能を有して居るものでは無くなつた。それでそんな過去の骨董品はそのまゝに放棄して

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

置いても自然の間に無用の長物になる運命を有して居るものである。然るに一部の社會改造家は如何にも厄介な品物のやうに取扱ひ、早く片付けたいと云ふ心から躍起となつてこれに向つて闘はんとするのである。これは、丁度既に壽命のない病人に向つてその命を取つて遣るやうなもので、不仁な行ひである。

過激主義者や革命崇拜家は道德を手緩いものに思つて血氣の勇に逸る爲めに、その結果は夏の虫の火に入る觀がある。人間の道德が日に新に發達して、その間に人格活動の嚴存して居ることを辨へずに、カッと怒つた間際に資本家と喧嘩したり、官權と衝突したりして、遂には尾行を附けられたり、牢獄に打ち込まれたり、國外に放逐されたりして散々な目に遭ふのは、策の上々なるものでは無い。彼等は餘りに社會を助長したがる。社會道德の進歩が蝸牛の歩むやうなものであるのに奔馬の勢で駈け出さうとする。けれども、道德はこれを絶對に許さないのであるから、彼等は終に道德を見捨てゝ不道德の行爲に走るのである。道德と共に行動を一にし歩調を合せて進むことが出來ずに、道德を出し拔いて高名手柄を恣にしようとする爲めに、不仁の行爲を手段にしなければ浮ばれぬ羽目に陷るのである。

これは實に過ちの大なるものである。人を欺き、世を迷はし、遂に已れを害してこの娑婆を去るのが最後である。彼等は餘りに多きを願ふのである。秋の收穫をのみ希つて肥桶を擔いて歩く九夏三伏の辛抱が出來ないのである。二宮尊德翁は曰つた。

「大事を成さんと欲する者は先づ小事を務むべし。大事を成さんと欲して小事を怠り、その成り難きを憂ひて成り易きを務めざる者は小人の常なり。夫れ小を積めば大となるなり。萬石の粟は則ち一粒の積なり。萬町の田は則ち一朱の積なり。萬里の路は則ち一歩の積なり。九仞の山は則ち一簣の積なり。小事を務めて怠らざれば、大事必ず成る。小事を務めずして怠る者は庸ぞ大事を成すを得んや。」

と、實に味つて餘りある名言である。又た范文公の詩に斯ういふのがある。

物盛則必衰　有隆還有替
速成不堅牢　亟走多顚躓
灼々園中花　早發還先萎
遲々澗畔松　欝々含晩翠
賦命有疾徐　青雲難力致

これ亦た容易に得難い金言である。

— 終 —

肩書

必要のある場合に肩書を用ふるは當然なり、名刺に長々しき肩書を付ける氣の知れぬ人あり　正○位勳○等○爵貴族院議員○○省○○局長何某が死亡したと云ふ様な廣告がある　始から讀んで往つて姓名まてに餘程時間がかゝることである、亞米利加人が支那の大官を通じた所が　肩書の無い奴には面會せぬと云つた、そこて其の亞米利加人が名刺に米國の州の名から地名から村の名まて長たらしく書いて見せたので　此の位の肩書のある人ならば會はうと云うたと云ふ話しがある骨董雜誌に左の一節がある妙々、

或人一日圓山應擧の許を訪ひて揮毫を請ひ言ひけるやうは、先生の落款あまりに短きに過ぎて何とやらん物足らぬ様に覺ゆ何卒此度は長く書きて給はれと言ひければ應擧は打笑ひていと易き事なりとて直ちに筆を染め落款に

日本鍛冶宗匠來伊賀守藤原金道東隣應擧

と書きて與へしにぞ居合はせたる人々いたく其當意即妙を感じ合ひ果は大笑となりしとぞ此金道は其頃評判の長銘を切る人なりしよりさてこそ應擧戲れに之に及べるなりけれと某書（書名失念）にあり。

第四十五議會の一考察

辯護士　布施辰治

（一）

政治傾向の轉回期にある我國の政界は、近來漸く眞のデモクラシーに徹底せんとする新興機運の政治傾向を隨分急進的に歩んで居る。けれども、根本的の大轉回を遂げて、落ち着く處まで落ち着くには、まだ〱可なりの距離があるであらう。而已ならず、今後幾波瀾幾重疊幾變轉の多事を經なければならぬであらうと思ふ。私は此の意味に於て、來るべき四十五議會の多事に尠からざる興味を有つものである。が、私の茲に謂ふ第四十五議會の多事は、必ずしも政策の是非に關する多事では無くて、政治の中心力を爭奪し合ふ新興機運の政治傾向に就てゞある事は申す迄もない。而して、第四十五議會の多事を象徴するものは、蓋し普選問題であるに相違ない。又左樣で無ければ爲らぬと信ずる。

（二）

我國從來の議會は、彼等所謂議會政治家の死命と用命とを一部少數の有產階級に委ねる事を以て、彼等自らの便宜なりと考へられた制限選擧の爲に、私共一般民衆の問題とせざるべからざる生活問題の如きは、敢て之を問題と爲さず。却つて私共一般民衆の問題とする事を欲せざる利權問題の如きものを強いて問題として、疾くに議會の問題とせざるべからざる私共一般民衆の爲めの普選を問題としなかつたのである。恐らくは第四十五議會に於ても又、彼等所謂議會政治家の死命と用命とを一部少數の有產階級に委ねる事を以て、選擧運動上の便宜なりと考へて居るものは、新興機運の政治傾向を幾分でも促進すべき普選を問題とする事に內心反對であるかも知れない。しかしながら、議會の民衆化に耳を掩ふことを許さない政治傾向の目醒めとしてか、或は左樣した時代勢力の脅威としてかは多少の問題であるが、いづれにしても、彼等の政治的生命を維持する爲には全然普選案を問題にしない譯には往かない。

（三）

茲に於てか、第四十五議會には、曲り成りにも野黨結束の普選案が提出せらるゝであらうが、初めから、議會內の運命の判かつて居る普選問題に就て、彼等提案者には眞に勝つべき何等の策もないらしい。彼等は只徒らに其の時々の問題を

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

追ふと云ふよりは、寧ろ新興機運の政治的傾向に引き摺らる野黨の立場に於て之を提案する丈けの事であつて、脆くも否決せらるゝか、若くは否決せられんとした場合、果して如何なる對策に出づるてあらうかは甚だ疑問てある。恐らくは議會外に私共一般民衆の聲援を求めやうとするに違ひない。先づ合法的手段として許さるゝ國民大會等の形式に依る示威運動や、演說會の開催に訴ふる輿論の喚起は勿論、贊成議員の督勵や、反對議員の問詰等有らゆる手段に努むるてあらうけれども、其の場合議會外の一般民衆は、果して彼等所謂議會政治家の吹く笛に從つて、眞の民衆運動を蹈り出すてあらうかは大問題てある。

（四）

何故なら、新興機運の政治傾向に自覺して、生活卽政治、政治卽生活と云ふ政治の實際化、議會の生活化を主張するものは、私共の生活が始中終の不斷に連續して、其の一日を缺くべからざるが如く、所謂政治も亦始中終の不斷に連續して其の一日をも忽かせにする事が出來ないと考へて居る。從つて眞の生活改善を企圖する爲の政治運動は、矢張り私共の生活が現に終中始不斷の不足不滿不平に充ちて居る丈けに、必ずや夫れに伴ふ始中終不斷の運動て無ければ爲らないと信じて居る。然るに今日の所謂政治家は、一年中に限られたる議會開會の時を以て、所謂政治期節なりとし、平生私共一般民衆の爲に、果して何を策し、何を考へ且つ何を求めつゝあるかゞ判からない如うな議會政治家として、平生其の存在さへも認められない如うなもの丶間歇的な普選運動に何んの權威があらうといふ事に迷はざるを得ないからである。而かも彼等の運動方針の如何なるものであるかを仄聞するに、彼等としても議會內に於ける普選提案の脆き慘敗を覺悟して居るらしい。而して夫れを街頭に持ち出す輿論喚起の言論集會に於て、眞に其の權威を示す民衆蹶起の徹底的成功に向つて、獻身的犧牲の覺悟を定めた相當の計畫が立つて居るのかと云ふと必ずしも左樣て無いらしい。彼等自らは高い安全地帶に在りて、巧みに一部急進者の非常手段に俟たんとして居るのてはあるまいかと思はれる。こんな事ては從來幾度か誠意なき議會政治家の爲に、政權爭奪の犧牲とされた事のある議會外の一般民衆は、容易に彼等議會政治家の求むる議會外の民衆運動に參加しないてあらうと思ふ。

故に私は告げる、彼等普選を提出する議會政治家として、眞に新時代の政治傾向に目醒めたのてあり、又眞に普選の急施卽行を議會外の民衆運動に俟たんとするのてあるならば、彼等自ら民衆の先驅と爲りて、懸命挺身の大運動を起すが良い。その時にこそ、是迄幾度か彼等の利用に泣かされた民衆も、又彼等の眞劍味を買つて議會外の民衆運動に響應するてあらう。

◇悲劇の苦杯　（日野眞澄氏著）

著者は同志社大學の敎授として令名高かつた人、佛敎の東洋大學に招聘せられて同大學に基督敎を講じてゐる學者てあるが、同志社大學紛擾の所謂怪火事件によりて愛兒五人を慘死せしめられた、人生の大悲劇の記念出版てある。（四六版定價一圓八十錢小石川原町丙午出版社發行）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

民法學者の國際關係觀

法學博士　穗積重遠

◇權利及權力の行使と其濫用

私は民法學者の國際關係觀と題し、甚だ漠然たる題を掲げたのであるが、一人の民法學者が如何に國際關係を考ふるかを陳べて見たいと思ふのである。又學者とは學び得た者でなく、學びつゝある者との意味に御承知を願ひたい。學者は迂遠なる者であり又迂遠なることを考ふる者である。國際聯盟は十年前は六つヶ敷い問題とせられて居つた。又民法は國內の私的法律であつて國際的公法ではないが、私は民法を研究するときに、國際關係が民法的ならば如何に宜しからんと思ふのである。今民法と國際關係に就ての綱目を申すならば先づ民法は權利の法律であるが故に權利を重んずると云ふことである。其の見地より第一に權利上より見たる國際關係、第二に契約法より見たる國際關係、第三に法人關係より見たる國際關係、第四に民法の內容より見たる國際關係、第五に民法の原動力より見たる國際關係を陳べて見たいと思ふ　是等の關係を考究するならば、民法の精神と國際的精神とぴつたり符合することを認め得るのである。先づ第一に民法は權利を重んじ之を保護する、金を貸した者はその債務者に對し督促すべく、又コップを所有する者は自由勝手に使用して他より侵害せられざる樣にと、その權利を重んずべきであるが又他方より考ふるならば所有權は絶對的のものでないので、之を利用せしむることが個人のみならず社　會　共同生活の爲めと云ふ事に歸着するのである。

結婚は男女の關係であるが、日本のみならず外國でも親の同意を得ることになつて居る。日本では年齡男三十歳女二十五歳に達する迄、その親は同意權を有して居るが、近頃は此同意權は絶對のものでないと解釋し、青年男女だけが一時の感情で結婚するが如きことなく、確實なる精神に依つて圓滿に成立つ樣にとの理由に外ならぬと言ふことになつて來た。それ故に親が何等の理由なくして同意を與へぬとするならば權利の行使でなく濫用である。近時此權利濫用云々を痛言することに依つて程能く緩和せらるゝのである。或る法律に關する口述試驗に物干の浴衣が隣家に飛んだ時に何うするかとの問題があつたが、その場合に隣家の主人は浴衣を拾つてやる義務がないと云ふ議論もあつたが、結局隣家の者が之を拾つて遣ることを斷はるならば權利の濫用であると云ふことに決せられた。國際間も同樣である。或る人は權力と權利は違

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ふと云ふも決してさうでない。國家の權力は絕對的でなく合理的でなければならぬ。一國の獨立權自主權も絕對的でないから、若し之を濫用するならば行使てはない、それ故に移民問題の如きも何等の理由なしに拒むことは出來ぬ、加州問題の如きも其の一例である。

◇民法上の契約及法人と國際關係

次には契約のことである。今の民法では契約に重きを置くのである。佛蘭西の革命時代には一層契約と云ふことを大事に取扱つた。ルツソーの民約論は有名のものであり、國家も法律も契約から出來上つたと云ふのであつて、勿論其の反對説が多くあるが、然し私が此民約論を見るのに、その大精神は契約てあつたならば如何に善き心持ちであるかとの理想を顯はしたものであると思はるゝのである。近頃國際關係は契約より成立つて居る。即ち國際聯盟・和條約の如きは契約が其の根柢をなして居る。又賣買は契約てある、然るに我が實業家中契約を重んぜぬ爲世界の不評判となつて居る者もある私は多くの人々より契約解除の方法を尋ねらるゝも、その相談に應ぜぬのである。即ち契約を無視する方面の智慧を貸さぬのである。兎に角吾々は個人間の契約は勿論國際契約を重んぜねばならぬ。然らざれば社會國家の安寧と進歩を害するのである。又國際關係を重んずるならば國際平和の爲め、契約の文面と眞意を調べて適當に解釋すべきである。個人關係も同樣である。例へば十一月十一日の約束期限の借金を返還するのに、その日の午後十一時や十一時四五十分頃では不可ない。何ぜならば午後十一時やそれ以後の時刻は一般世人の睡眠時間であるからである。契約の履行は總て誠實と信用に基づくものでなければならぬ。國際關係も眞の誠意の履行でなければならぬ。甲が乙に金壹千圓を貸した以上は、甲は乙に對しその約束の期限に返還を請求し、若し返還せざる時は強制的方法に依つて充分に其の權利を主張することが出來る是れが民法の一面の精神である。然しながら吾々は他面に於て共同生活の精神を考へなければならぬ。即ち相手の困らぬ範圍に於て主張せねばならぬ。例へば差押を爲すにも民法に規定があつて、食料品や食料用の器物や職業上の道具等に手を着けてはならぬことになつてゐる。義務者は勿論誠實てなければならぬが、權利者も其の權利の十分の八を主張する心掛けがなければならぬ。要するに權利者と義務者との間は仇敵同志でないから、權利者は共同生活の目的を達する範圍内に於て權利を行使せねばならぬ、國際間も同樣である

又個人間に於て契約の當時意思なくして、否應なしに強要せられ、或は知識經驗なくして欺瞞せられ強迫せられて、米を言ひなり放題て買つたとすれば、その契約は無效である。資本家と勞働者の契約問題の如きも自由契約でなければならぬ。それ故に資本家はその契約が壓迫的で正しからざるものであるや否やを大に注意し考慮せなければならぬ。次は法人論である。多數の各個人が進んで金を出し合つて會社を組織する。會社と云ふ法人、是れは自然人に對して言ふ主體である。そして法人の觀念が漸次強くなる、そこで法人論の範圍が大きくなつて國家を法人と看做す論が起ると同時に、之が

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

反對論が起るのである。大體世人は法人に對し一人々々の生きた者の寄合であるとの觀念が薄い、又國家に對しても此完全なる團體は一人々々の事を重んじて延ばしたものであるとの觀念が薄い。又或る論者は條約等に關し日本の國家は拘束せらるゝも國民は拘束せられぬと云ふが、私は反對である。國家が約束したのは國民各自が約束したことになるのであるそして我が國では條約發表の形式は官報に登載せらるゝことになつてゐる。然るに米國は統一を缺いて居るため、ウイルソン大統領が折角國際聯盟を主張し乍ら、之を批準する運びに至らなかつた。それは國民外交であると云ふ關係もある。又國家が最高の法人であると假定せば、國家と國家と寄り合うて、より大なる法人となるべきである。私は或る人の依頼を受けて法人と法人とが寄り合うて大なる法人が出來たものと假定しその法人の定款を作成した。是れは出來得べきものと確信したからである。國家と國家との關係も同一理であらねばならぬ。

◇英國巡査の法律の腕

偖又國際聯盟は結構の事であるが絶對に善きものではない今一歩を進めて全人類を包容したる大なるものにせねばならぬ。國際法人は各國家の主權を害せぬのである。そして國家は國民の集合なるが故に國際法人は全人類の寄り合ひと云ふことになるのである。然らざれば眞の幸福を得られぬ、又民法の内容は私的生活であつて經濟生活と親族關係の生活の二てある。此經濟的共同生活を満足せしむるのが目的である然し世界全體を満足せしむるものでなければならぬ。自足自給は已むを得ざる場合の方法である。御互に交換して共同生活を圓滿にせねばならぬ、それ故に平素自足自給の必要に迫られぬ樣考慮せねばならぬ。民法の經濟生活が國外に出て世界民法が起らねばならぬと思ふ。尤も民法以外にも世界的に進みつゝある諸方面がある。彼の著作權の如きは國内だけであつてはならぬ。特許權も然りである。又手形法の如きは實に世界的である。隨つて商法も國際商法、民法も國際民法となり、然して全人類が完全圓滿なる生活を遂ぐることを努むべきである。私は戰爭の始つた千九百十四年八月一日には佛蘭西に居つてベルホール附近をぶらついて居つたが、歐洲各國の經濟關係が密接してゐるから、却々戰爭など起るべからずと信じて居つたが、愈々戰爭となつた爲めに瑞西へ逃げた然し能く考ふるならば歐洲に於ける經濟關係の密度が未だまだ足りないと云ふ感じが強く起るのである。又民法の原動力に就て申すならば、民法は國家の法律であり國家の命令なるが故に行はるゝと云ふも、なぜ法律は行はるゝかと申すならば、國家は人間の共同生活であるから、その規則が行はるるのである。そしてその共同的信念で行はるゝが故に心から行はるゝのである。

英國倫敦の巡査は身の丈六尺豊かの男で、常ににこ〱として親切である。その巡査が唯一人バンコイグランドの中心に立つて無言の儘腕一本で往來人を指揮して居る手際は誠に鮮かである。巴里の警視總監が大いに之を感嘆して倫敦へ巡査を留學せしめたが却々甘く行かぬ。なぜならば英國では此

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

腕を以て指揮する所謂法律の腕と、能く此指揮命令を守る所の市民があつてこそ甘く行くのである。それ故に巴里に於ても倫敦と同樣にしやうと思ふならば、巴里の市民をも留學せしめねばならぬ。市民全體が心から服膺する心掛けてなければならぬ。國際法は法律でないと云ふが、共同生活の感じが強くなれば社會力が強く權力が強くなるのである。國家の權力は愛國に依つて強くなる如く、國際間に國際心を抱かしむることが必要である。斯くすれば自然に善くなるのである。又今日の民法は個人主義に依つて出來た民法だと申すのであるが、成程其の時代には個人の自覺に基きて出來た。然しだん／＼進まねばならぬ即ち自分と同等の者が共同生活をなし居るとの社會生活の思想に進まねばならぬ國家主義も元は正しかつたが、今は個國主義では不可ない。私は獨逸に一ケ年半居つて獨人と交際したが、ビールは飲まぬので唯歌を歌うた。然し獨逸の與國の歌を歌ふ氣持ちが起らなかつた。此個國主義軍國主義の獨逸は果して亡國的となつた。今後は何うしても國際主義に立たねばならぬ。

◇圓滿なる國際心と國際主義の極致

私は茲に一言國際主義と世界主義とは違ふことを申して置かねばならぬ。世界主義は總て一つにするのであるが、是れは利益なくて害がある。各國何れも種々の特色があるから豆を幾つかの箱に入るゝ如く個々別々である方が宜しい。そして國際主義と國家主義と相一致するものであつて、決して矛盾するものでない。民法其の他の法律は國内は勿論、世界人類共同の生活を完全圓滿にせねばならぬ。通俗の言で言ふならばみんなが本當に仲善くせねばならぬ。將來此世界の文明が進んで火星と交通生活をする時機が實現するかも知れぬ。さうなれば一層共同生活の範圍が廣くなる譯である。兎に角吾々は人類の目的は此共同生活を完全圓滿にするものであると云ふことを悟りて、戰爭に對し吾々の態度を考へねばならぬ。又考ふべきは講和條約と平和條約と違ふことである。平和條約は仲善くする相談である。そしてその相談が着々と進みつゝあるのみならず、此平和條約中に共同生活の重大問題たる勞働問題を掲げてゐる。國際聯盟や華府會議の欠點やあらを云ふ人があるけれども、それは不可かね。兎に角云ふものが出來たのは偉い。要するに吾々は人類共同生活を完全にせねばならぬ。

・法人は何か、法人の人と云ふは如何なる理由か、假りに人と看做した擬制だと申すのであるが、之に對し有力な反對論者に獨の民法學者オツトギール氏がある。そして法人實在論を著はした。その卷頭に於て「人の人たる所以は人と人との結合に在り」と論じ、原文には「人と人との結合のお蔭である」との意味が含んで居るのである。吾人人類が萬物の靈長たる所以は團體生活を爲すからである。そして團結の力の多いと少ないとに依つてその品位や價値が違ふのである。又社會學者から申すならば、個人が社會に負ふ所多き所以は社會が個人を作つたからだと論斷し得るのだ。又哲學者が全體が先て部分が後てあると申すのである。文章は單語の集合であるが、文章が先きに出來たとも云ひ得るのである。例へば猿がキヤキヤと云ふ。是れは文章であり全體であるが、單語の先きに出來た。又前に陳べたオ氏の言葉である「人の人たる所以」と云ふ所に妙味がある。吾々は自由と人格を有する者である。此人の人たる所以の言葉を國際關係に使用したいのである。私は國際聯盟や華府會議が眞に成功する樣に信じ且つ希望するものである。(講演要領文責在記者)

惡化せる近來の思潮

廓清會理事　高島米峰

利己的個人主義の流行

大正十年を顧ると天下の耳目を聳動した事件が非常に多かつた。就中最も大きな事件としては東京市疑獄事件、關西勞働爭議、各所に現れたる男女關係及安田善次郎、原敬兩氏が凶刄に斃れたる事を擧げることが出來る。之等の多くの事件を一纏めにして其動機及結果に關し明快なる判斷を下すことは容易なことではないが、然し現代人の思想の傾向を考へて見ると其處に一脉の流れを發見することが出來る。卽ち利己的個人主義の流行は自己の物慾の滿足を追ふに日も猶ほ足らざる如き低級なる現象を呈し、其結果は他人の迷惑と不幸とを犧牲にしても猶自己の安逸と幸福とを求めやうとするやうになり、益々求めて益々飽く事を知らざる結果が不正の手段に訴へて迄物慾の滿足を圖るやうになるのではあるまいか而して我々生活の安定を得ないのは經濟組織が不完全であるといふことに立脚して、經濟組織さへ改造されるならば總ての問題は解決が附くといふやうな一部の社會主義者の唱ふる社會改造論に禍されて人間を單なる物質生活の對象とのみ考へ、他の一面により貴き精神生活の對象である所以を忘却し卽ち物的改造よりは心的改造の切要なる所以を忘却して、而も其處に安定を見出さんとした所の不徹底なる結論が一朝にして破綻を生じた其有樣が、一方に於て東京市疑獄事件となつて現はれ、他方に於て勞働爭議となつて現はれ、更に他の方面に於ては男女間の醜關係となつて現はれたことゝ見られないではない。

進化の法則の惡用

又進化論の敎ふる如く生存競爭、弱肉强食、優勝劣敗、――此の如くして進化ありといふことは之を否定すべき理由はないけれども自然界の現象は必ずしも生存競爭、弱肉强食、優勝劣敗のみに依つて進化してゐるものとは云はれない相互に投資し相互に扶助し協調して其處に進化を營んでゐるものも少くない。若し生存競爭のみが進化の法則であるとするならば、當然弱肉强食であり優勝劣敗であるから從つて强い者勝ち卽ち强力本位となる。强力本位は一に强力是正義といふ觀念に到着する。今日の勞働爭議は單なる爭に終らずして何時でも暴力に訴へて最後の解決を得やうとする如く惡化し來つたのは卽ち生存競爭、弱肉强食、優勝劣敗の進化

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の法則が惡用せられたものと解することが出來ると同時に他に放賫、互助、協調、犧牲と云つたより貴き法則のあることを知らざるものと云ふことか出來る。

誤れる戀愛過重主義

男女關係にしても夫婦の結合は假令それが舊式の媒介結婚に依るとしても新式の自由結婚に依るとしても、單に人間のみの事業とは考へられない。日本今日の人口を七千萬とし半ばを男、半ばを女とする。三千五百萬の女から一人の女を撰び三千五百萬の男から一人の男を撰ぶといふことは小さな人間の力を以てしては可能のことではない。人間の自由意志に基き撰擇し得たと信じても其背後には無限大の佛の御心が發動して人間の思想が自由に働くべく指導せられたものと見ざるを得ない。此の如くして男女が結合した以上、此結合を破壞することを人間のみの我儘から勝手に斷行すべきではない然るに戀愛の爲に何事も犧牲にして他を顧ない戀愛過重主義に祟られ、夫婦關係を絕つこと恰も破れた靴を捨つる如く、貞操を二三にすること浮草の如く、甚だしきに至つては貞操を弄び貞操を蹂躙すること娼婦の如きものさへあり。自ら辯護して曰く「男女の結婚は戀愛を基調とせざるべからず。愛なき結婚は不自然である」と。此のやうな見地からして放縱なる生活を送るといふことは確に人生を見誤つたものと云はなければならない。勿論戀愛は人生の一方面である。然し戀愛は人生の總てではない。政治、宗敎、藝術、法律、經濟等も亦人生の一方面を成してゐる。戀愛のみの爲に何事をも犧性にして差支ないと考へるの誤れる如く其人生觀は極めて狹く偏るものであつて餘りに人間の住むべき世界を局限したものである。

狹小なる權力者の人生觀

原敬氏が政友會の黨勢擴張の爲に惡辣なる手段を取つたと解せられそれが近因をなして東京驛頭悲慘な死を遂げ、安田善次郎氏が富は散するが故に貴くして積む爲に積むべきにあらずといふことを實現し得なかつた爲に凶刄に斃れたのも或は其人生觀が一部に局限せられて居つたといふことに基してゐることと解せられないことはない。

之を要するに之等の事件を通觀すると其間に流れてゐる一貫した思想は卽ち惡化せる利己的個人主義であると云つて差支ない。（文責在記者）

天津の公娼廢止運動

公娼廢止、遊廓撤廢の叫びは隨所に耳にするやうになつたが今回天津日本軍司令部參謀部附江崎都郎氏より島田本會長に宛て次の如き熱誠なる來信があつた

拜啓（前略）小生一昨年遊支臨軍調査委員として派遣せられ目下天津駐在軍附にて勉強致居候（中略）今回天津に於て租界廓淸の爲め公娼廢止遊廓撤廢の運動を起し本月（一月）八日其宣言書を發表愈々實行に着手仕候 目下天津日本租界には日鮮人を合せて九軒の貸座敷あり租界の風致を紊り居る事に候 小生等は來る大正十二年の遊廓移轉を機として公娼の全廢を期する覺悟に候 同時に外國租界に跋扈する醜業婦に對し領事館側と協力致し全部引揚を斷行せしむる積りに候 就ては運動の統一と成功を期する爲め當地に廓淸會支部を設置致度云々

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

新年は新しき機會である

廓清會評議員
救世軍大佐　山室軍平

新年は新しき機會である。しかも機會は前額にのみ髪があつて、後頭が禿げて居り、前から來た時捉へねば、一旦やり過しては、之を捉へることが出來ないといへば、私共は新年の始に、どうかしつかり此の新しき機會を捉へ、十二分の祝福と利益とを得たいものである。

（上）新しき信仰を得よ

それに就いて、先づ大切なるは新しき信仰を得ることである。昔デウポント提督が、ファラウト提督にむかひ、其の何故チャールストンの港に入り得なかつたかといふ理由を、細々と辯明すると、ファラウトは聞き終りて「しかし今一つの最も大なる原因は、君がチャールストンに入港し得るといふ信仰のなかつたことであらう」というた。今諸君が去る年に於て、善を知つて行ひ得なかつたのも、惡と心付いたことを行うたのも、失望したのも、煩悶したのも、種々要らざる失敗を招かれたのも、皆それ〳〵の理由はあつたことながら、中にも一番大きな理由は、諸君に信仰のなかつたことではないか。即ち基督によりて天の父なる神にたより、神の御力によりて此等凡ての禍に打克つ信仰のなかつたことが、何よりの缺陷ではなかつたらうか。それ故今年は新年早々、どうか十分、此の堅い信仰を獲得せらるゝ樣、望むのである。

（中）新しき人物となれ

次には、新年の好き機會を捉へて、新しき人物となるの工夫をして欲しいものである。或人がローランド、ヒルといふ宗教家にむかひ、「貴君の人相を觀るに、貴君が若し基督に救はれて居なかつたなら、どんないたづら者でしたらうか」といふと、彼は答へて、「私も然う思ふ」というたことがある。しかし乍ら人が悔改めて基督を信仰すれば、基督はどんないたづら者でも、または薄志弱行の人をでも、之を救うて新しき心を授け、新しき人物とならせ給ふ。ローランド、ヒルを救うて、あれ程德の高い宗教家とならしめた基督は、亦諸君を救うて、新しき生活に入らせ給ふことが出來るのである。

（下）新しき奉仕をなせ

今一つ大切なるは、新しき奉仕をなすべきことである。人生は短く、爲すべきことは多い。あれやこれやと無駄なことに手を出す間に、遂に何一つ、爲す甲斐あることをし得ないで、世を去る恐れがないとは限らない。昔の人は「爲すある者は爲さゞる所あり」というた。私共は自分が先づ罪から救はれ、進んで他人を救ふ爲に奮闘せねばならぬ。人を罪から救ふ位、此の世を益し、又永久に神と人とに盡す道は斷じて他にないのである。新しき年は新しき機會であるから、私共はこの新らしき年の門出に際し、其の好い機會を捉へて、何卒新しき奉仕の門出を祝したいものである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

道德化せる不道德

立敎大學長　元田作之進

一

我々の日常生活に表面如何にも道德的らしく見えて其實不道德の事柄がある。不道德らしく見えて其實道德であることもある。道德に見えて道德なることと、不道德に見えて不道德なることに就ては彼是論ずる程の餘地はない。然し前の二ヶ條に關しては大に考慮すべき理由がある。これ等は道德觀念の進步せざる社會に於て往々經驗する所であつて、日常に於ける文化生活の倘低級なることを意味するものとせねばならぬ。

尤も道德的觀念なるものが時代を追つて漸次進步しつゝある事實は誰れも承知してゐる所である。故に今日我々が不道德とすることも元祿時代には道德であつたこともある。又今日我々が道德と見る事を昔の人々が不道德とした事實もある過去に於ける經驗は將來にも繰返さるべく今日の道德が三百年後では不道德となり、三百年後の道德を今日我々は不道德視して居ないとも限らない。

道德觀念は時間に依つて異る如く場所に依つても異つてゐる。東洋の道德が西洋にて不道德となり、之れを反對に西洋の道德が東洋の道德となる場合も少くあるまい。

結局道德なる觀念にアブソリュートの意味とリラチーブの意味と二つあることになる、世には時代と場所に關係なく、どんな人に對してても人である以上は守らねばならぬと云ふ道德がなくてならぬと思はる。相對的道德の外に絕對的道德が存在すべきである。相對的道德は此絕對的道德に向つて進步しつゝあるのであつて、愈々そこまで到達すれば茲に始めて完全なる道德世界が實在せらるゝのである。

然し本文に道德化せる不道德と云ふ題目を掲げたのはこんな意味で云つたのではない。無論道德進步の過渡時代に於ては道德化せる不道德も又不道德化せる道德も澤山あるべきであるが自分が云ひたいと思ふことは同一時代に於て、又同一場所に於て、同一の人が一方に於てこれは不道德なりと主張し、他の一方に於ては同一の事をしながらこれは道德なりと意識してゐることが多くあることである

二

此道德的矛盾の最も甚だしきは日本人の日常に於ける挨拶振りである。元來日本人は禮讓を重んずる國民である。然かも其禮讓は親戚知己の間に於てのみ行はるる道德であつて、社會一般に對しては寧ろ其反對に無禮極まる國民である。言を換ふれば我日本國民は私德に厚くして公德に薄き國民である。其私德に於てすらも矛盾の事が多い。禮を重んずると云ふ點は誠に賞すべきであるが、其禮の實行に於ては虛僞が多い。虛僞は不道德と云ふことをよく知つて居りながら禮儀の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

上には虚僞を云つても差支ないと思つてゐる。否虚僞を云ふことが却て禮儀であると考へてゐる。即ち不道徳が禮儀上には道徳化されて居る。出來得るだけ準備をした宴會にても主催者は必ず準備が甚だ不行屆きにて相濟まぬと云ふ。充分の御馳走をして置いて何にもないが召上がれと云ふ。何んにもないものをどうして食する。お口に適ひますまいが召上れと云ふ。口に適はぬと知つたら之を出すのが却て無禮ではないか。食事頃に人を訪問して食事を勸めらるゝと自分は空腹で居りながら、途中で濟まして參りましたと云うて辭退する。自分の妻は賢明であると知りながら人に對して愚妻が又は荊妻がと謙遜する。自分の子供は才物と知りながら愚息がと云ひ、甚だしきに至つては豚兒がと云ふ。壯大美觀を極めた邸宅に住みながら人に對しては拙宅と云ふ自分自身を指して迂生と云ひ。自分の著書は名著であつても拙著と云ふ。何に限らず自己又自己の事に關しては極端に謙遜する、有ることを無いと云ひ、高いことを低いと云ひ、大なるものを小なりと云ふ。斯の如き挨拶振りは單に謙遜の挨拶なりとして許容すべきものでない。虚僞は飽くまでも虚僞である。謙遜の爲めなりとて虚僞の道徳が眞實の正徳にはならぬ。目的が善良なればとて虚僞の方法を取ることは道徳の許さぬ所である。今日では此虚僞の罪惡が奇麗に禮儀化されて居る。習慣の力は恐ろしいもので今では人が虚僞を虚僞と思はなく成つて居る。文化生活を云々する人は先づこゝから改善する必要はなきか。

三

虚僞を云はなければ禮讓にはならぬと云ふ理由はない。眞實の事許り云へば傲慢に陷るといふ心配もない。傲慢にもならず虚僞にもならずして人に快感を與へ人に好意を表明する社交的挨拶振りがある。何んにもないけれども召上れと云はなくとも、唯どうぞ召上つて下さいと云つたとて、客は傲慢な主人だと惡感を持つてあらうか、自分の子供を愚息がと云はなくとも、單に長男がとか次男がとかと云つて何の差支があらう、場合に依ては宅の小供は學校でも成績がよくありますと正直に云つても笑はれはすまい。虚僞を含まざる謙遜が眞の謙遜である。何もないと云つて置て澤山の御馳走をするのが却て一種僞善的傲慢である。

此道徳的矛盾は挨拶の時ばかりでない役所や會社に於て精勤する場合に其用向の如何に拘はらず病氣屆を差出す習慣がある。無據事故とか不得止事情とか云へば差支ない筈である。其事故や事情の如何を明言する必要があれば正直に實際の事柄を申述ぶべきであらう。そんな理由では缺勤が出來ぬとならば缺勤せぬことより外はない。虚僞の申立をなして、表面を繕ふことは道徳上許すべからざる罪惡である。

虚僞を神聖視する習慣が凡て社會生活を脅威して居る。物を賣るに掛け値を云ふこともこれから來る。約束の時間を守らぬこともこれから來る。借りたものを期限に返へさないこともこれから來る。時間確守、約束履行、正札賣買、此等の社會的道徳は凡ての事に正直なるべしと云ふことより起る所のものである。

四

更に甚だしきは婦人の醜業である。自

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ら進んで其業務に從事する婦人もあらうが、親の借財を拂ふ爲め、家の苦境を救ふ爲めに婦人として最も大切の貞操を賣るものもある。世間では大した惡い事とは思つて居ない。單に氣の毒な位にて解して居る。此處にも大なる道德的矛盾がある。親を救ふと云ふことは高尚なる道德である。之れと同時に婦人の貞操を無視することは大なる罪惡である。如何に親の爲めなりとて此罪惡が神聖とはならぬ。若し之れが許さるゝものなら親の債務を金とする爲めに他人の財產を奪うても差支へないことになる。石川五右衞門は天下の大慈善家として社會は之を表彰せねばならぬこととなる。近頃我國に種々な不祥事が起るやうであるが、目的が良であればどんな手段を廻らしても差支ないと云ふ誤つた道德心から來るてはなからうか。

西洋人が日本人を許して、理解し得られない民族だと云つて居る。悲むべき時に笑顏で挨拶する。謙遜ではあるが遠慮なく噓を云ふ。立派な政治家がだらしのない私生涯を營んで居る。醜業婦が時として烈婦の如く讃美せられる。日本には奇妙奇態な特殊道德があつて我々西洋人には薩張り了解が出來ぬと云つてゐる。斯の如き特殊道德を固守して將來世界的交際、人類的親善を實現し得るものなるや疑問である。

◇妾の節操を抵當にして◇

――▷▷▷公正證書を作成す◁◁◁――

女の節操を抵當の公正證書を作成したため一部法曹界の問題を惹き起し非難の焦點となりつゝある、公證人がある、當の本人は赤坂新町に役場を開いてゐる岡本一雄氏で、何故に斯んな證書を作つたか、これには種々な事情と一の悲劇がある。玆に澁谷道玄坂上に高砂といふ料理店がある。その名義人安田たま(二二)は美人といふ程ではない花柳の巷に人となつた其阿娜姿に打込んで終に手活の花としたのは澁谷から程近い駒場の郵便局長吉村喜重郎で、たまの實父の三好盛吉と其又黑森の丸橋政藏といふのが盛んに糸を引き、地所と多少の小金のある吉村は操られるとも知らずに三千圓、四千圓と度々たまに貢いた、現在の料理屋も其金て新築されたのである、扨て昨年七月、三好一派はたまの名義で一萬一千餘圓の借金を申込んだ、吉村は承諾したが其の金の調達に困り、某高利貸から日歩二十錢といふ高利で六千餘圓借り、愈公正證書作成の段取りとなつたが、借財申込人のたまは法律上未成年者であるので、其親權者三好の實弟飛彈高山の染物商安田房次郎の同意を得た。夫れは後なつて私印私書僞造と判つたが兎に角赤坂新町の岡本公證役場で貸借の公正證書を作る事となり、たまは丸橋政藏を代理人としたが流石に吉村は面恥しく妻あさ(三一)が白紙の委任狀を持ちて公證役場に出頭し双方調印の上、金錢は授受された、然し其公正證書は珍無類のもので、其前書は型の如くであるが個條書にした其本文中に「安田たまは向ふ一年間其節操に非難ある時は本契約を無效とすとの一項があるのみか、美濃罫紙刷の極り切つた文句の中には、たまの精神上及び肉體上の自由を束縛し絕對屈從の義務を強要する樣な文字が挿入されてある、夫婦でない妾に斯樣な善良の風俗に反するが如き契約書が公證にされた事は言語同斷てあるが、然し此時は無事に濟んだ、處がたまは其節操が守れず種々な浮いた噂が立つたので、吉村は怒つてたまの親權者たる安田房次郎の財產を差押へた、事件は遂に澁谷署の人事相談部へ持ち出されて本月八日漸くたまから六千五百圓を返濟して事件は解決したが、解けないのは公正證書の文言である、公證人が何故に人の自由を束縛し善良の風俗に反した證書を作つたか、宜しく懲戒に附すべき問題だと一部法曹界の問題とならんとして居る。

取調の必要あり。

◎今村裁判所長語る

右に付き公證人監督の地位にある今村東京地方裁判所長は契約證書文を見ない以上假には夫れが法律上有效無效の斷定は出來ぬ。而も夫れが道樂息子や、若後家の不身持ちを矯むるために節操を守れとの證書は、所謂善良な風俗を維持する上に於て寧ろ有效と言はねばならぬが、夫れがさうでなくて金錢貸借の對象物として節操を強要したものとすれば、それは善良な風俗に悖るもので、それは無效である事は言ふまでもない、岡本公證人が果して斯樣な證書を作つたとすれば、公證人の職務に違反した行爲だから監督の地位にある所長としては取調べる必要があると、尙牧野控訴院長は一體規定以外の料金を取つた丈けでも違反行爲であると語つた。

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

商工青年に對する二大要件

內務省囑託　生江孝之

□□＝軍備縮小の爲めに影薄くなりつゝある日本國＝□□

世界大戰後は歐米の交戰國は勿論、我が國の各社會は非常に混沌たるものである。歷史ありて以來斯くの如く混沌となつたことはないのである。産業界に於ても非常なる打擊を受け、思想界に於ても種々なる過激思想が瀰漫して止まる所を知らず、將來如何になり行くべきか、混沌に混沌を重ね誠に心配の至りである。然し一方から考ふれば、混沌たる中にも光明を認め得らるゝので、實に愉快に思はるゝのである。此際如何にして成功を遂ぐべきか、又意義ある生活を送ることが出來るかと申すならば、私は優秀なる實力と崇高なる操行にありと申したいのである。我が國にも貴族學者の社會がある。然し遠からざる將來に於て、貴族なるが故に上位を占むるか如きことがなくなると思ふ。なぜなれば今は社會上の競爭は實力主義である。又博士の稱號を有する者必ずしも學者でない。系統ありて實力あるも博士たる能はざる、又博士たるを屑しとせざる學者がある。又博士が往々實力以上に見らるゝことがある。要するに實力第一である。そして實力の主體は團體と個人その二つである。歐米諸國の社會には團體として實力を養ひつゝある。又國家としても然りである。由來我國が五大國又は三大國の內に入つて居るのは、國家としての日本であつて社會としての日本ではない。軍備あるが爲めに國家として三大國となりたるものである。大戰以前は武力が必要であつた。併し太平洋會議に於て見當の着くことは、交戰諸國に今後武力を背景とせざる國家とすべきことを敎へたのが、大戰をして意義あらしめたのである。そして日本の大てふ影が薄くなるのである。然し軍備を頑守するならば日本は第二の獨逸となるのであるから、何うしても軍備の縮少又は廢止をなさねばならぬ。そして將來社會的に産業的に大なる發展をなし、實力を養はねばならぬ。現代の如き文化的に世界を進めたものは歐米の文明である。醫術學問機械工藝等皆然りである。然るに日本は是等の文化的方面に於て、何か寄與したものがあるかと申すならば、殆んど何もないのである、それ故に若し軍備を背景とすることが廢るならば、我が日本は他に實力あるでなければ敗殘者となるのである。即ち産業的實力に依つて競爭せねばならぬ。

□□＝職業の訓練と敎育及社會政策の勵行＝□□

近頃サボルことが流行してゐるが、青年が遊惰安逸に陷つては不可ない。眞に克己奮勵して實力を養はねばならぬ。そして今現に從事しつゝある自分の仕事に熟練することが必要である。各個人異なれる特長あり又嗜好が違ふから、各自適當なる職業に訓練することが必要である。産業の組織も不完全であつて改善の必要

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

もあるが、目下食ふか食はずの生涯を送つて居る人は何程あるが、其の夥多なるに驚くのである、英國は人口の二割五分か三割ある。實に遺憾のことである、さうであるから何うしても産業組織を或る程度迄改むる必要を認むるのである。又米國一億五百萬人の内同じく生活に困つて居る者が千五百萬人乃至二千萬人ある日本では四百五十萬人か五百萬人あるのである。そしてその多くは不熟練の職工である。終業後彼等の多くは木賃宿に泊つて憐れむべき生活を續けて居るのである。斯く憐れなる境遇に陷つた第一の原因は青年時代に其の仕事の熟練を怠つたからである。又今日個人として實力を要するのみならず、勞働團體や組合としても相當の實力を要するのである。

英、獨、瑞西の三國及米の二十州は、義務教育を延長して十四歳より十八歳迄實業教育を施し、實力養成を勵行して居るのである。要するに軍備を背景とせざる國が向上發展して善くなるのである。

我が國が教育費千萬圓の國庫補助も出來ぬ有樣であるから、此際軍備を縮小して第一に其の延長教育に消費せねばならぬ然し青年たる者は今それ等の補助や施設を待たず、獨立的に勉學を心掛くべきである。そして十年後に非常の關係があることを忘れてはならぬ。軍備縮少の上は教育及社會政策を勵行せねばならぬ。米國は既に教育や社會政策其の他を勵行しつゝある。青年諸君は獨立的克己的精神を以て遊惰淫逸の風を取り去らねばならぬ。尚ほ深くして強い自覺をするでなければ外國と競爭することは出來ぬ。又個人々々の競爭に打勝つことが出來ぬのである。

□□崇高なる品性慾望と敬虔なる宗教的情操□□

第二崇高なる品性である、最高なる慾望は宗教を希ふ望である、其の他生存慾保存慾がある。何人も生存慾即ち衣食住の慾、及子孫を殘すための性慾があるが、之を誤用してはならぬ、此性慾は危險なる慾望であつて、青年時期が最も危險であることは申す迄もない。その慾望を抑制する力は、敬虔なる宗教的信念に依つて初めて得らるゝのである。又永生の慾望は誰れにでもあるので、如何なる宗教にも永遠の生命を説くのである。然し宗教は宗教心の最も盛んなる可き青年時期に於ても無意識に過ぐることがあるそれ故に適當に指導せなければならぬ。

又天空を仰いで自ら宗教を理解し品性を高むることが出來る。日本には抑制の機關あるも宗教力の方を充分に滿たす機關が缺乏して居る。米國には青年會や教會が多くある、日本には不足であるけれども、諸君が此修養を努むると云ふことが必要である。宗教は神と人と一致することである。純なる愛、純なる義を有する主宰者、基督教に云ふ天父と一致する情操は高いものはないと思ふ、そして此情操は青年時代が最も必要である。今基督教の信者で民衆を土臺とする人々を物色するならば、山室軍平、吉野作造、賀川豐彥岩谷小波の如き諸氏である。是等の信者は、直接間接に善き働きを爲してゐる。

□□賀川豐彥氏の活ける信仰及び博愛的事業□□

殊に賀川豐彥氏は年齡三十四五歲であつて、神戸の新川の貧民窟に働いてゐるので、熱誠なる勞働者の味方である。彼れの著はしたる「死線を越えて」は今日

迄二百十版を重ね明治大正を通じて第一に多く讀まれた書であるが、その中篇たる「大陽を射るもの」が此間發行されたその書名の出所は印度の諺に依つたものだとのことである。思ふに又々非常の勢力を以て版を重ね、洛陽の紙價を高からしむることであらうと思ふ。彼れは一面天才的の人である。なぜ斯く社會を風靡することが出來るか、若し彼れに宗教を體驗する活きた信仰がなかつたならば、三萬乃至四萬近い勞働者然かも亂暴や爭鬪に陷り易き勞働者を制御して一ケ月以上も暴動させぬ威力を有する譯に行かぬのである。嘗ては肺結核であつた背の低き虛弱なる人が斯く指揮者の地位に立つてストライキの繼續を見たのは確かに同氏の力である。少なくとも重もなる力である。最後に暴動となり警官が拔刀をなすに至つたのは誠に遺憾である。彼れには青年の燃ゆるばかりなる宗教熱がある。或る人は日本に二大偉人がある。原敬と賀川豐彥であると申したが、奇矯なる對象の樣であるが確かに一面の眞理がある。それは兎に角として彼れは、貧民窟中の三疊か五疊の陋屋に住んで貧民と寢食苦樂を共にしてゐるのである吾人が若い時に宗教を信ずることは、其の一生に大いなる影響があるのである。諸君が宗教殊に基督教を信ずることに努力し奮勵せらるゝことは誠に必要である。以上申した優秀なる實力と崇高なる品性の二大要件を重んずることは青年に取つて大緊要の事柄である。若し然らずして妄りに意馬心猿の慾を逞うして淫靡惰弱に陷るならば、必ずや三十乃至四十にして敗れ又仆るゝのである。願はくば青年諸君が眞摯なる態度を以て此二大要件たる優秀なる實力と崇高なる品性を握有し、向上發展せられんことを希望するのである。

（講演要領文責在記者）

泰庵戲言（寫本）に左の一節がある。

吉良殿は足利同流の源家にて歷々なれども其の時僅四千石の小身也、其の小身なる家に二十人も取合せて討死の輩あるは高名なり。惜いかな此者ども僅か六兩に二人扶持八兩に三人扶持などと云ふ若黨奉公をして在りながら主人の大事に臨み討死しける志いと勇也。明かなる主人が又大國に事へたらば其の名も高く其の家も輝くべきに闇愚の吉良殿に事へしこそ不運なれ

君、君たらずと雖も、臣臣たりと云ふ所が日本のえらい所である、夫、夫たらずと雖も婦、婦たりてえらくなるのである、夫が不都合だから愛人に走ると云ふ事が當然であるならば日本の行末が案じらる。

次に對大石　戰鬪策が同書（泰庵戲言）に載せてある泰庵先生仲々の智者なり

如何に防いでも吉良殿の采配にて内藏助が精錬の士は防がれまじ去りながら潔よき討死に十人、炭部屋まで從ひけるも二三人あり是を一つにして三十人も有しか、吉良殿下知して玄關を始とし固く閉ぢふさいて鬨を擧げ矢の一筋をも發すべからず。然らば寄手少しは疑ひ猶豫すべしそこを内より八方を燒立てよ、寄手急に入りかねべし。其時寄手の薄き方より思もよらず驅け出さば鬼神といへども一荒れさるべし、其時隣家の壁を切り拔き火を壁ると稱してなだれこみ、立てこもらば火事消さんとて大名旗本驅け集らん然らばさしもの大石も獨り狂ひなるべし。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日本の國際的代表者としての大隈侯

廓清會理事
早稻田大學敎授　内ヶ崎作三郎

大隈侯の逝去は日本の社會に充たすべからざる大きな穴を殘した、老侯が盛んに活動せられてゐた頃はさ程にも思はなかつたかも知れないが、再び起つべからざる悲しむべき今日となつては其逝去に因り生じたる缺陷が非常に大きなものであることがわかつた。大隈侯の生命は政治と財政とであつたが頗る多趣味多方面な人で純文藝とか美術とかには興味がなかつたやうであるが、大抵の學問や事件や問題には常に生々とした興味を感ぜられた人である。依つて大隈侯を夫々の方面より研究することは有益なことであるが、私は殊に偉大なる國際的人物としての大隈侯を追懐して見たい。

◇長崎へ洋行◇

大隈侯は佐賀に生れた。佐賀は長崎に近い。長崎は當時唯一の外國文化の入口であつた。而已ならず長崎は佐賀藩内に在つて幕府直屬の地であつたが其國防と警備とは福岡藩と交代に任じてゐたのである。左れば佐賀藩の一般の氣風は保守的にして頑迷固陋の徒も決して少くはなかつたが、一長崎あり、自ら海外の事情に通ずるやうになつた。西洋醫術も輸入されたことであらう。西洋兵學も研究されたことであらう。而して大隈侯は其青年時代に長崎の留學生となつた。留學生といふのも變であるかも知れないが。佐賀と長崎とは二十九里の距離しかない。東京と宇都宮くらゐの所である。今日の長崎は極めて靜かな港であるが。乍併幕府時代の長崎は江戸長崎と稱して一國の首府と對立してゐた。各藩の新智識が長崎に集まつたのは今日の秀才が歐米に留學するのと同じやうな譯であつた。青年大隈は長崎に於いて和蘭陀人の居留地を見た。和蘭陀の商船を見た。殊に幕末に於ては歐米列强の商船や軍艦やを見たであらう。彼は既に蘭學を修め英語を學んだ。彼はフルベッキ博士に就いて新約全書の或部分と米國憲法の講義を聽いた。彼は村田若狭の樣に基督敎の信者にはならなかつた。併し乍ら之に依つて基督敎の如何なるものであるかを心得たに違ひない。又米國の憲法は將來の立憲政治の運動の導火線となつたことであらう。兎に角大隈侯は足一歩と雖も海外に踏み出したことはなかつた。攝政宮殿下が昨年外遊の途に就かせ給ふ前老侯が御機嫌伺ひに罷り出た時に殿下は老侯に何遍洋行したかといふやうな御質問があつたといふ。一度も洋行しない大隈侯は攝政宮殿下に對して非常に有益な御助言を呈したと傳へ聞く。それは如何な立派な宮殿に御入りになつても驚き給ふことなく。又御挨拶は凡て日本語で御やりになり而も御遠慮なく音吐朗々と聲を發せられ外國語は一切御用ゐ遊ばされぬやうとのことであつたと聞いた。素より聰明に在らせられる攝政宮殿下には老侯の御助言なくも之等のことは御承知であつたかも知れない。然し演說と座談にかけては天下一品の稱ある老侯の御添言葉は殊の外の

御注意を以て御聽取りになられたことと考へる。大隈侯は歐米には洋行しなかつたが長崎に洋行したのである。而して其後政務當局者として常に歐米列强の代表者と議論を戰はし交際を續けたから、外國人のことは能く呑み込まれたのである。

◇歷史と地理とに對する興味◇

大隈侯は歷史と地理とに對して非常なる興味を持たれた。歷史と地理とを以て一切學問の基礎であると思はれた。そこで常に世界各國の大勢に就いては注意を怠ることがなかつた。而も大隈侯は一つの大きな心を抱いて居られた。それは自分の一生涯のうちに日本の文化を高め、歐米文化と同列の所まで引き上げやうといふ大きな希望である大隈侯の政治上財政上 教育上 社會上の活動は此大いな願望を中心として渦を卷いてゐた。國際的日本の位置を高むる爲に何れ丈苦心されたか計り識るべからざるものがある。其編著に係る「開國五十年史」は開國後五十年の日本文化の發達を世界各國に紹介せんとしたものである。其英譯は倫敦に於て發行された。續いて「開國大勢史」を公にされたが、之は德川時代に於る西力東漸の大波瀾を歷史的に豊富なる材料を蒐集して大正の日本國民に示されたのである。大隈侯の念頭よりは國際的日本世界に於る日本といふ考は殆ず一瞬間も去つたことはなかつたであらう。

◇政治上の自由主義◇

大隈侯の政治上の自由主義は今日の理想に照せば著しく保守的思想を帶びてゐた。然し明治十四年頃には確かに急進的思想と見えたのである。大隈侯は國内に對しては自由思想、國外に對しては對外硬論者であつた。明治二十二年の條約改正は失敗したが、當時の大勢から考へれば誰が其局に當つても成功を收むることは出來なかつたであらう。大隈侯は一種の犧牲となつたものであつた。日本のやうな遲れ走せに國際關係の仲間入りをした國は多少負惜み、痩我慢をして國際的地歩を占むる必要がある。此點に於て大隈侯は著しき貢献があつたものと言はねばならぬ。今日社會主義、共産主義を唱へる人は國際的には殆ど無爲無能の觀を呈してゐる。又外に帝國主義を唱へる人は內に專制政治を行はんとする傾向がある。此悲むべき矛盾撞着は調和されなければならぬ。國内に於て平等主義を行はんとするなら、同時に之を國際的に實現せねばならない。如何なる人にも存在する如く、大隈侯には多くの缺點はあつた矛盾撞着はあつた。然し其缺點を改むべく努力したことは認めねばならない。

◇國民元氣の皷吹者◇

華盛頓會議の殆ど終らんとする今日に於て日本の國際的の困難は變ることがない。內政にも大改革を要するものがあると同時に、國際的地位を高むるが爲には一日も怠ることが出來ないものが數多ある。此秋に當つて大隈侯を失つたことは惜しむべきである。

大隈侯の逝去に因り早稻田大學の總長を失ひ、元氣の皷吹者を失うたが、國際的日本を双肩を擔つて立つた大隈侯を失うたことは取返しのつかぬ損失である。當此缺陷を補ふ者は我々殘されたる者の責任である。舊思想の者は兎角排外的傾向を帶び易く、新思想の者は矢鱈に歐米を崇拜する。そこで頑迷者流もハイカラ派も共に賴み難い、其調和を圖り得る大隈第二世、否大隈侯以上の人物を生み出す爲に我々は不斷の努力を爲さればならぬ。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

婦人と體力

實踐女學校長　下田歌子

體力の增進

私は四十五年間、女子教育に携つて居ります。此の間に於きまする、日本女子の體力は、年一年と增進して居り、特に、身の丈けが著しく進歩して居ります。現在の高等小學、乃至女學校邊たりの在學生は、明治十年頃の婦人に比較いたして、確かに、二寸位ゐは高く延びて居ります。

增進の原因

夫れは、一般に、體育思想が普及された事は、申すまでもありませんが、特に著しい原因と申しますのは、學校に於きまして體操を課し、且つ椅子を用いる結果であります。椅子を用いますれば、什うして高くなりますか。御承知の様に、丈けの長短は下肢の長短に比例するもので、胴の長さは大抵一定して、身長には大した關係がありません。それは、西洋婦人の短胴長脚と、日本婦人の長胴短脚とを比較しますれば、直ちに判明いたします。

短脚の原因

西洋婦人の丈けの高いのは、椅子を用いるからで、日本婦人の丈けの低いのは、座つて足の發達を防げて、居るからであります。暫らく座つて居りますれば、「シビレ」が切れます。「シビレ」のきれますのは、取りもなほさず血液の循環を防げるからで、血液の循環を防げるから、足の發達を阻害する事になり、足の發達を阻害しますから、長胴短脚になり、長胴短脚でありますから、身の丈けが低くなつたのであります。

大昔の婦人

夫れでは日本婦人は、元來長胴短脚であつたかと申しますに、さうではありません。封建前の婦人は、所謂柳腰と申しまして、短胴長脚で恰好よく、丈け高かつたのであります。夫れは什ういふ譯かと申しますと、當時の座り方は、現今と違つて、甚だ不作法でありますが、横膝をして身體の重身を、全部「キョウック」て支へて居りましたり、立膝をして居りましたり、又男子の方は胡座をして居りましたから、足の發達には、さのみ影響がなかつたからであります。

短脚の由來

夫れから、維新になりまして以來、秩序が整然しましたのにつれ、行儀が嚴格になりました。從つて座り方も嚴重になりました結果、遂ひ脚の發達を防げまして、漸次短脚になつたのであります。

夫れから私は、滯外國中、日本步兵進擊の時の、擧止動作の敏活は、世界一であるといふ事を聽きました。これはとりも直さず、日常生活に於きまして、座臥屈伸に、慣れて居る必然的結果と存じます。

座方の是非

斯樣に何事でも一利一害が伴ひますから、座るといふ事も直ちに惡いとは申されません。要するに、座り方の如何によるのであります。夫れてありますから發達盛りの御子供さ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ん方に就いては、あまり行儀作法を嚴かましくいふ事は、體育上改めて頂きたいと存じます。

夫れも其家庭ばかりでは實行が出來ません。家庭の人もお客さんも一般に、御子さんの不作法は、とがめないやうにして頂かなければなりません。私は斯うして國家のために、漸次國民の體力を、增進したいと存じます。特に、私は、私等同性婦人に、之の體力の增進といふ事に就いて、責任と注意とを望みたいと存じます。

婦人と遺傳

婦人自身の體力增進といふ事は只單に自己の幸福ばかりではなく、延いて御子さん方の體力に、尤も密接の關係があります。婦人は生理學上、受胎といふ關係から、特にお子さんに、遺傳し易いのであります。

之を史實に見ますると、世界各國の偉人、英雄、豪傑は、悉く立派な母親より生れ、其母親の體力若くは、精神を、引繼いで居ります。斯樣に、婦人の體力若くは精神は、第二國民の體力並に精神上に、尤も重大な因果關係があります。

夫れですから私等同性婦人は、此の責任に目覺めて、體力增進に努めなければなりません。

婦人と精神

斯樣に婦人の體力や精神力は、第二國民とも密接の關係がありますから、體力養成のかたはら精神力の發達も充分心掛けなければなりません。而し之れは餘程注意して、考へなければならない問題であります。なぜと申しますれば、壯健なる身體には健全なる精神が宿るといふ事がありますから、第一に身體を造るといふ事に心掛けなければなりません。さうしないと、大變な結果を、生ずるからであります。現に日本婦人は之の危險に遭遇しつゝあるのであります。

退歩の趨勢

明治十年頃の婦人の體力は、母親より姉が少さく、姉は妹より大きかつたのでありましたが、三十年頃は、姉は妹より少さく、妹は姉より大きい、現在でも、母親より娘が大きく丈の高いのを見受けます。斯樣な率で體力が發展して、明治十年頃の、婦人に比し、現在の高等小學、女學校邊りの生徒は、僅かに二寸位身の丈けが延びて來ましたのが、最近小學の兒童を見ますと、更に少さくなつた樣な傾向があります。之れは什うい ふ所に原因するのでありませうか。

退歩の原因

夫れは、文化思想が普及されまして、女子の智識慾が非常に、增進しまして、遂に體力が腦力に負けました結果であります。某外國の雜誌に、女博士の容貌を書いたものがありましたが、其れに依りますと、頰骨高く、肉落ち眼くぼみ、色青めて、如何にも神經質の風貌でありました。之れは些か酷評ですが、但し、精神智力が、體力を負かした證左として、思ひ半ばに過ぐるものがありませう。

腦力と體力

又我國でも現に、明治七八年から十年頃の大學の優等生は、卒業間際乃至卒業後二三年後に斃れたのが多くありました、一時大學を閉鎖した方がよいといふ樣な議論がありました程で、之れも腦力が體力に伴はなかつた證據になります。

女子も其通りで、餘り智識慾が、旺んでありますと、知らず識らずの間に、名譽心に驅られて、自己の體質を知らずに猛進する結果、夭折しましたり、神經質

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

になりまして、一生の幸福を阻害し、災を自他に及ぼす事になります。

夫れでありますから、勿論精神智力の修養はもとより必要でありますが、第一に體力の增進に努めなければ、何にも役に立ちませず、又一面切角大きくなりかかりました、日本婦人の體力も再び低下する様になります。私の憂うるのは此點てあります。

歐米の婦人

歐米の婦人は、過去五年の大戰亂の結果、最後の勝利は體力であるといふ事を、切實に自覺しまして「テニス」「ベイスボール」等と、男子方の仲間入をしまして、體育に意を用ふる様になりました。

特に英國婦人は、世界中尤もよい體格の所有者てありますが、彼の歐洲戰爭の際、男子の總べての勞働に代つて、仕事をいたします場合に、まだ〳〵不充分である事を、深く深く、悟りまして、男子に遜色なき體力を得る様に、午後全部の時間を、體力增進に費す事になつて居ります。

體力挽回策

斯様に世界各國の婦人が目覺めまして、體力增進に盡して居りますのは、一旦事のある時に處しまする用意と、半面には、子孫の爲めといふ事を考へて居るのであります。

夫れでありますから、日本婦人も之れにまけない様に努めなければなりませんが、而し日本の國情は、西洋婦人の様に運動に熱中する譯には行きませんから、何も見得外聞に構はずに、農家でありますれば、鋤鍬を手にして一生懸命に働き若し町家であるなれば、箒や叩木を持つて、掃き掃除や炊事等一切の勞働をば、人手を籍らずに立ち働く様にせなければ、世界の生存競爭に、打ち克つ事が困難であります。(つゞく)

結婚に關する五つの問題

米國青年男女の解答

在紐育　衛藤欣子

戀と金と、二たに仕へやうとする米婦人は歐洲大戰を一區劃として以來米國青年男女、殊に女子の結婚に對する思想の怖ろしき變化は今や一般に認められる處となりました。世界の大戰は米國婦人に男子の缺乏からして多くの職業上の機會を與へ、從て夫は婦人が經濟的獨立を得るの緒となりました。婦人參政權の獲得、女子高等教育の普及、婦人の有利な社會的種々の條件が備はつた事、婦人の經濟的精神的獨立が事實に於て確立された事が其最大なる原因として見られて居ります。

つひ近頃當地の基督教青年會では二百人の男女に左の五問題の質問狀を發して其の解答を求めました。是等の男女は總て近く結婚生活に入る準備をして居ると共に、職業や其教育程度に於てもそれ〳〵社會各方面の代表的人物が選ばれたので御座います。

第一問　男子が結婚の申込み(米國では結婚の申込みは總て男子の方からするのが習慣で御座います)をするのは何時が宜いか之に對し

(イ)戀の相手を見出したら直ぐ其時にと云ふもの(經濟狀態など顧みないで)男子三人、女子二十五人

(ロ)將來の見込みの十分立つた職業的地位なり事業を確立した時と云ふもの男子三十八人、女子三十九人

(ハ)結婚生活に必要な最小限度の定收入を得てからと云ふもの男子十七人、女子二十二人

(ニ)最小限度の定收入の外或程度の貯蓄が出來たらと云ふもの男子十九人、女子二十六人

(ホ)生涯妻子を養ふだけの富を積み上げた後にと云ふもの男子二十三人、女子八人

第二問　家の收入を如何に夫妻間に分配するかと云ふに對し

(イ)妻が家政を執る上必要なだけを與へると云ふもの男子六人、女子零

(ロ)妻は男子の月給全部を袋のまま受取るが至當だと云ふもの男子五人、女子五人

(ハ)家の入費と妻自身の入費を別々に精算して決まつただけ與ふべきだと云ふもの男子二十九人、女子二十八人

(ニ)豫算を立て必要とするだけ夫と妻の間に分配さるべきだと云ふもの男子四十八人、女子四十四人

(ホ)一家の經濟は夫妻別々に折半して支拂ふべきだと云ふもの男子十二人、女子二十三人

第三問　結婚後妻の職業は續けて差支なきやと云ふに對し

(イ)若し妻が持ち續ける事を希望するならと云ふもの男子十人、女子三十四人

(ロ)一、二年は宜しいと云ふもの男子三十七人、女子二十一人

(ハ)結婚生活に對し絶對に必要ならと云ふもの男子十五人、女子二十八人

(ニ)絶對不可(如何なる境遇に於ても)と云ふもの男子三十八人、女子四十八人

第四問　兩親の扶助を受くべきかと云ふに對し

(イ)結婚後は絶對に兩親が新婚の娘、息子等に對して扶助するの義務を認めないと云ふもの男子七十二人、女子七十六人

(ロ)當座或は一二年間は宜いと云ふもの男子十六人、女子十五人、

(ハ)若し兩親が何等の犧牲を拂ふことなく十分の餘裕ある時は其扶助を受けても宜いと云ふもの男子十二人、女子九人

第五問　結婚後の住居如何と云ふに對し

(イ)市内に住むと云ふもの男子六人女子六人

(ロ)市外にと云ふもの男子九十人女子九十四人

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

謎の世界吉原病院日記（九）

元吉原病院看護婦　田口和子

八月十三日（水曜日、雨）

當直。同勤のS樣が「今晩はきつと患者が澤山あつてよ、見てゝ御覽なさい」といふ。何故ときけばても〇先生が御當直てせう患者つたらもうちやんと知つてるもんだから先刻もれ、あゝ辛氣くさい、病氣になりさうだ、癪でも起してやらうかなんて云つてるのですもの、此處の患者の凡てが左樣だといふ譯でもあるまいが夜なんかの臨時患者の中に多くこれがあるんですよ。だから此處は他の病院と違つて餘り患者に優しくては駄目だと云ふのですよ。直ぐ増長しますかられ」道理でよく「今日は甘い先生かしら、今日の泊り番先生は苦い人かしら」などゝ患者同志で話してゐるのを聞いた。斯んなことは地方の遊廓病院にも再々あつた事なので今更らの新發見でもないが、何うして態々自公の身體を痛めてまでも人に手數をかけることに興味を持つやうになるのか。その話をするとS樣の説明に曰ふには「そりやあその筈てはありませんか一日中食べては寢、寢ては食べるきりなんですもの、眞の病氣になるのも當然ですけれども、左うして何の仕事もない退屈の餘何か變つたことでもと思ふけれどそれも出來ない處から自分から病氣を作り出して大層らしく騷いて見せたいのよ」如何に何ても自分の身體を壞してまでも畸形的な快樂を追はなくともと思はれるが、左樣な心理狀態は全然打消すことは出來ない。下の關の遊廓病院に居る時てあつた。強度のヒステリー患者で癪を起して困らせたのがあつた。その患者が癪の起る二三時間前、或は朝から「今日はきつと癪が起る」と豫告するのが常てあつた。それがまた不思議に適中した。皆が面白がり私も「どうしてそれがわかるの」ときくと「何處か前以つて痛むつていふことはなしするんですけれども手紙が來て感ずることがあつたり、醫者に對して意地の張れない場合があつたりして一心に元の境遇を悲しんだりするとその夜又は直ぐに其場て胸に何か差し込んで來るやうな感じがし始めそれからだん〳〵苦しくなつて息も出來ないやうになるんです」彼女の話はまた續く「それて面白いことがあるのよ金の澤山あるお客が來て歸したくないことがあるてせう。そんな時には今の呼吸て癪を起して男の足を留めるんてす。男なんていふものは何處まで甘く出來てるのか底がわからないわ。一寸入院すればやれお小遣、御見舞と云つて頼みもせぬ金を送つて來るんですものね」面白い話が彈んで夜の更けるのも知らなかつた。此夜は輕症ながら果していつもより澤山の患者を出した。交代時間の十二時頃本所方面に火事があつた。明け番の爲に早くから寢に就いたものゝ近くの樓てのさんざめきて眠られぬまゝ起き出て見た。火の手が熾てある。S樣はそれを眺めながら「あつちてはあの火事、こつちてはこの底拔け騷ぎ。世の中は樣々てすれ。此處の此騷ぎをあの災難に懸つてる人達に見せたらどんな氣がするでせう。それしにてもあんな自分勝手な獨りよがりな商賣だけはしたくないものですれ。あの御殿のやうな家ばかり並んだ大きな遊廓だつて何時粉微塵になつてしまふか知れないんです」妙にしんみりしてしまつた。全く此醜き世界に天帝の裁きの來るのも遠くはあるまいと思はれる。

八月十六日（土曜日、曇）

上野圖書館に行く。目的の原稿は漸く一枚出來たきりで他の讀物の爲めに又々時間を費してしまふ。九時の鈴が鳴り響くとすぐ圖書館を出て小暗い東照宮近くの森の中を通る。何とも云へない爽かな氣持てある。歸院後間もなく二十六號室で流産があつた。本人（金貸來より入院した者）は月經が止つてから二三ヶ月と云つてるが先生も私等も五ヶ月と見た。當直のM樣たちと鼻をつまみながら膿盆に入れた胎兒を見ると胎胞の破れ目からもうすつかり人間の皮膚をした小さな可愛い手足を出して縮んだ脣も眼も鼻も黑い髮も皆可憐てあつた。光りを見ずして葬らるゝ。不憫の者よ。「先生矢張黴毒てせうか」「左樣です。殊に斯うした社會の女には、不注意で轉んだりしたことがなく彼あいふ風に養生してゐても突然こんなに流産をするのが多いのです。……可愛さうにお前だつて大きくなつたらどんな偉い者になるのかわからないのに」夫の毒が妻に、妻の毒が子供に、そして子供は闇に葬られてしまふのだ。こんな悲慘な家庭は幾らあるか知れない。入院中の者の中にはまだ此の外三四人の懷胎者がある。どうか滿足に生れておくれ。

八月十八日（月曜日、曇）

五月から六月にかけての派出費は曲りなりにも頂けたので御禮旁々、恐れて逃げ出した妹の會に對して損をかけたればとの謝

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

求還り私は己が罪を換へてお伺ひしてさつぱりと會を出たのである。追々私は沁々思 つた。これが神を知らぬ昔の私であつたら只徒に勝氣を募らせ不審な點を對發して「何故一册の會員名簿もないのか、何故自分の旅に依つて順序正しく計算をしかければ頭から面倒臭い一々日を繰らなくともいゝぢやないか現に角二十日分の食料を引いて下さいとK樣（計算係）へ命令するのか」といふ樣な事をびし〳〵詰問してあげたのだ多くの人々（此會のみではなく）は働いた金が全然貰へずに泣き寢入りをしたり甚だしいのは着物、行李の類まで渡されずに出たといふやうな者さへあるのに比べれば私はどんなに幸福であつたらう。況してや會長御自身の口から「もう私もこれからは之に懲りてきちん〳〵と計算だけは直ぐとすることに致します」と申されたほどだから私の爲したことも满更無益てなかつたと感謝を捧げ得ることを歡ぶ。早速これを妹にも知らせ安神させやうと彼女が奉公してゐる某貿易家の邸を訪れた。「芳江さん、長い間あなたを引つ張り廻はして慣れない所を辛い思ひをさせたのね。でももう明日一日だわ。十九日で滿六ヶ月になるでせう。下の關を出て……」と云つたらあのくる〳〵した眼を輝かせて「あら、いやな田口さん。私の滿期はもう此十一日で濟んでるのよ。そら、あの寒かつた二月の十二日の朝から遊廓を出たんですものだから私十一日の朝特別に早く起きて裏庭に立ち永い間神樣に祈りを上げたりお禮を申したりしたんですの。そして六ヶ月の淺間しかつた私の境遇を考へたり苦心をして通つて來て關門海峽の有樣やら長い汽車中の樂しかつたことやらをそれからそれと追想しました。それにしても私は今こうして心丈夫に幸福なその日〳〵を送つてゐますが、あの時皆さんの云ふことをきかないで强情を張つた寒菊さん（共に門司から逃れ立つて來た妹てホームを洩れた人）は今どうしてることでせう」嘆げに思ふことが多い。此六ヶ月といふ法律上の無效期間を、如何に二つの胸を千々に碎いたことであつたらう。「あゝ嬉しい。そしたら私これから早速取りかゝるわ。ほゝ……だつて今までは何をしたいと思つても直ぐにあなたの身に影響を及ぼしてはと考へると全くひや〳〵してゐたんですもの」と云ふと芳江さんも「どうぞれお願ひてすわ。私も一旦は一心にあなたのやうに看護婦となつて私の苦しんだやうにまだ苦んでゐる人たちを一人殘らず救ひ出したいと思つて出來るだけの辛抱したんてすけれど……。とう〳〵我慢が出來ないてあなたの留守の間にあんな事（逃げ出したこと）をしてしまつたものだから……」それから彼女は會といふものに慕々した理由をいろ〳〵と物語つた。

八月二十日（水曜日、晴）

當直、今宵も向ふの儀具金花のさんざめきはまだ明るい宵の口から續いてゐる。其大騷ぎがまだ止まぬ十二時頃からこんどは西は當る上野方面に眞紅な火の手が盛んに燃え揚つた。それもその筈、あの東京名物の一つてある博覽會場の大建築が全部燒けてしまつたのだもの。「目下開場中の平和記念の家庭博覽會、其中ての呼物である「ベルサイユ」宮殿も今は紅蓮の焔の裡に包まれてゐるてあらう。顧み猶くも畏き世の事々相々てある。一日も早くあの火のやうに神の福音と各めに持てる權利を可憐なるこの多くの姉妹達へ總へ傳はらしめたい。とは云へ、あゝ昨日も所用で一寸四番て立ち寄り話をしてゐると斥候のやうな、御用もないのに幾度ても入つて來てはまた直ぐ出て行く……日頃より何かと云つては直ぐキリストを持ち出して反駁をなさる御方々、けふも復おいてなすつて何か仕事代りに陰口の種てもとお探しの模樣。敢て氣にはとめないものの情ないことだと沁々思はれる。神樣のことを少しも理解してはゐれず、甚だしいのは天理教かなんかと同じやうに考へて「屍敵を拂つて用實り給へ、それて足りなきや嫁を貰に……」なんて變な手振りて踊り出す人々てすもの、何を話したつて駄目の皮だ。いつそ捨てゝ置け、と淋しいあきらめが出て來る。こんな愚痴をこぼすかはりに何故强い心が油然と湧き出て來ないのか、私は自分ながら殘念に思ふのである。あゝ、しかしこれ位のことに躓いてはならない。まだ〳〵多くの試練が必要なのだ。祈らう〳〵。祈つて神の加護を受けさへすればどんな事業だつて成就しないことはないのだ。

八月二十三日（土曜日、晴）

當直、體溫を取るべく二十四番室に行くと他室から遊びに來てゐる三四名の患者の話の中にモーリン〳〵といふ言葉が頻發するので一體何の意味なのときいて見るとそれは刑事巡査のことだつた。「私は紳士に化けたモーリンのはなにかかつて罰金を取られた……私は飾り店に永く座つてるのが嫌で仕方がないから一寸簾をはぐつて客を呼び込んだら通りすがりのモーリンに咎められて……イヤ私は書生に化けたモーリンに……」などモーリンを連發して經驗をやつてゐる。すると重症患者武井しげさんの附添に來られてゐる母の君の申すやうは「モーリンはどんなに紳士や旦那を氣取つて來ても、下駄を見ると一目で正體がわかるんですよ。氣を付けて御覽なさい。經驗に太い鼻緖がたつてるものだから」話は續く「あんなに恐い顏をして客を呼び込むと四角張つて咎めるけれども、いくら外見だけきびしく〳〵したつて駄目よ。一と屆娼妓の內事を覗き込まうものならそりや沙汰の限りの奴さ。或者は尻を捲つて積樣に寢轉ろび、或者は大股ひろげて扇をばた〳〵やつてるんだもの、あれぢや昔の張り店時代の方がいくら娼妓の行儀のために好かつたか知れやしない第一行儀よく座ることを覺えるだけでも大したものさそれが今は只物の外見だけ七入かましく咎め立てて內て何をやらうが一向おかまひなしといふ風なんだからどうも可笑しな世の中になつて來ましたよ」と年を取つて居るだけのことを面白く語り聞かせる。患者がもつと〳〵とせがんで色々な話を聞かせて貰ふ。事實現代の此の矛盾した取締方法、徒に眼の先ばかりの咎め立てをして、それてこつちが見榮坊を作つて濟まし込んて居ればそれて通る世の中なのだ。內部の生活が如何にだらしらく醜いものてあらうとそれは御構ひなしなのだ。むしろ彼等の內部の見え透いて居るだけ私共はその兒戲に類した形式的警戒振りが滑稽に思はれて仕方がない。斯うして社會の內部生活から腐敗して行つて、道德は頹れ風儀は紊れて、醜い現實の曝露するのは果して何れの日か。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

▲明けまして御目出度うございます。先以て昨年中の御懇情を感謝し、相變らず本年も御指導御鞭韃下さる樣お願ひいたします。

▲私は年賀狀にも認めましたが、現下の最大問題は、どうしても軍備制限の問題だと存じます。過去幾千年の人類は此の戰爭の爲めに惱みました。最近一千萬の同朋は對獨戰爭に其命を失ひました。これで懲りなければ人間はよく〳〵の馬鹿です。我々は軍備の爲めに何れ程文化を阻害され、幸福を奪はれたでせう。六割では足らぬの潜航艇がどうのといふ樣なことは、畢竟軍備擴張の競爭ではありませんか、苟も平和を愛好して開かれたる會議として矛盾たるを免れませぬ。我々は是非とも曲りなりにも平和を促進して、啻に海軍のみならず、陸軍にも大なる斧鉞を下したいと思ひます。露西亞の崩潰以來假想敵國なき強大なる陸軍が無用の長物たるは、我が島田會長により屢々卷頭に論ぜられた處である。我々は國民黨案の如く、師團は半分で澤山だと思ひます。

▲此の陸海軍備の縮少は少くとも一ヶ年三億の國帑を節し得るでありませう。その金を第一に軍縮に因る失業者の救濟に用ゆべきは贅言を要しない處であります。が、之を年々國民の幸福に對する施設に用ひたならば、日本の文化は十年間に見違へる樣な大躍進をなし、日本の國民は自ら吃驚する程の幸福に見舞はれるでせうと思ひます。

▲試みに指を折つて數へて御覽なさい。我國の教育費は地方支辨と國庫支辨とを合せて僅に一億五千萬圓です。して見ると三億圓の追加は現在の小中大學專門諸學校を三倍にすることが出來ます。義務教育を八ヶ年に延長する如きは忽ち双手を迎へて解けるではありませんか。

▲日本の鐵道の旅客收入は一ヶ年一億四五千萬圓です又郵便電信電話の總收入も一ヶ年一億六五千萬圓です故に三億圓の金が浮かべば我々は只て汽車にも乘れるし、電信も電話も郵便も只で使つてよいことになります。或は經費五十萬圓の大病院を各府縣に十ヶ所づつ建てゝ無料で施療することも出來る。其他上水や下水や種々の衞生設備をなして、國民の壽命を二三年延ばす位は何でもない。我國に多い乳兒死亡率や若き婦人の死亡率を減ずることも出來る。

▲或は又我が廓清會の運動の一なる公娼問題の如きも現在五萬人の娼妓が平均八百圓の借金ありとして、僅に四千萬圓あれば全部解放が出來る。序に藝妓の方も片づけるとして、僅に一ヶ年の三分の一、即ち八千萬圓あれば十萬人の奴隷を一度に救ふことが出來るのです。

▲即ち私共は今日平和の宣傳軍備の制限に努力することによつて、偉大なる國民の幸福を招來し、文化の發展を期待し得るのでありますから、廓清會の素志たる男女問題と共に、現下の急務として年頭先づ諸賢の御盡瘁を切望いたします。

▲新年匆々本會前顧問大隈侯爵の薨去せられたことは國家多事の際、誠に痛惜に堪へない。謹しんで弔意を表します。

▲それに引かへ矢島楫子先生は、九十一歳の高齢を以て、無事に太平洋會議に對して、日本婦人は平和を熱愛する者である旨の連印を大統領に呈して、芽出度歸朝せられた。先生の健康と活動とは、歎稱に堪へぬ。次號に何れ先生の感想を揭げませう。

▲平和博覽會は準備着々進行してゐるが、先般東京府會が藝妓税を一二等地に區別して、一等地の税金を上げることにしたため、平和博に出演の筈であつた藝妓の手踊は、全部出演させぬことに申合せをしたので、府當局では、斯くては博覽會の人氣に觸るからといふので、何とか妥協の道はないかと、色々拜み倒しやら何やらやつてゐるが、藝妓組合は更に應じないから、或は府會の増税の決議を改めて、線香の上り高による課税に改めることになるかも知れぬといふ。いやはや何といふ不見識なことであらう。そんなことならこちらから、藝妓の出演は斷ると出るやうになれぬものか。警視廳の藝妓取締規則の内規には、明かに藝妓が公開の場所に出演することを禁じてゐるではないか。

▲我國(内地)では近頃年々約六萬組の離婚がある」ら、之を時間に割當てると、約九分間毎に一件の離婚がある譯で、之を諸外國のと比較すると左の如くなる

國別 調査年別	離婚數	人口千に付離婚の割合
◎日本(大正八年調)	五六、八二一	一・〇
◎合衆國(大正五年調)	一一二、〇三六	一・〇
◎瑞西(大正五年調)	一、五六三	〇・四
◎佛蘭西(大正二年調)	一七、六八〇	〇・四
◎丁抹(大正五年調)	九一七	〇・三
◎獨逸(大正五年調)	一四、七五四	〇・三
◎白耳義(大正六年調)	一、一五九	〇・二
◎英吉利(大正七年調)	二、六八八	〇・一

▲更に我國の離婚の年代的推移狀態を見るに

年	離婚數	人口千に付離婚の割合
明治廿一年	一〇九、一七五	二・七五
同 廿六年	一一六、七七五	二・八二
同 卅一年	九九、四六四	二・二七
同 卅六年	六五、三九二	一・四〇
同 四十一年	六〇、二二六	一・二二
大正二年	五九、五三六	一・一三
同 七年	五六、四七四	一・〇一

大正十一年一月十日印刷(毎月一日十日發行)
大正十一年一月十日發行(一部定價金二十錢)
編輯兼發行人 神田區今川小路一丁目三番地 伊藤秀吉
印刷人 本郷區眞砂町三十六番地 佐藤駒次郎
印刷所 本郷區眞砂町三十六番地 日東印刷株式會社
發行所 神田區表猿樂町七番地 廓清會發行所 電話神田四〇二〇番 振替東京二七〇七二番

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◎御注文の際は必ず雜誌『廓清』によると旨を申添を乞ふ◎

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分 一圓五十錢
二週分 二圓八十錢
三週分 四圓

どんな酒煙草のみても害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論呈進

禁煙散

煙草きらいになる藥

金壹圓 金貳圓 金參圓

本舖 大阪靱南通二丁目 森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一一二六番

産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

新刊

侯爵 大隈重信序
博士 プリンス・マロー著
文學士 小松武治譯

健康と性慾

三六版百七十頁
特價三十錢稅四錢

廓清會本部發行

Chiyoda Pomade

貴公子の
ニュースタイル

外交上の應對に方り
他人に快感を與ふるものは
頭髪の自然美と薫香
これ……清新なる

千代田ポマード

愛用者の誇なり……

男女の毛を自然美に蘇らせクセ・ネバリとフケを去る

本舗　山岸三之助

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——Dr. K. TAKATA——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副院長（新任）　醫學士　岡本能雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長　診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段 六二番・六三番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

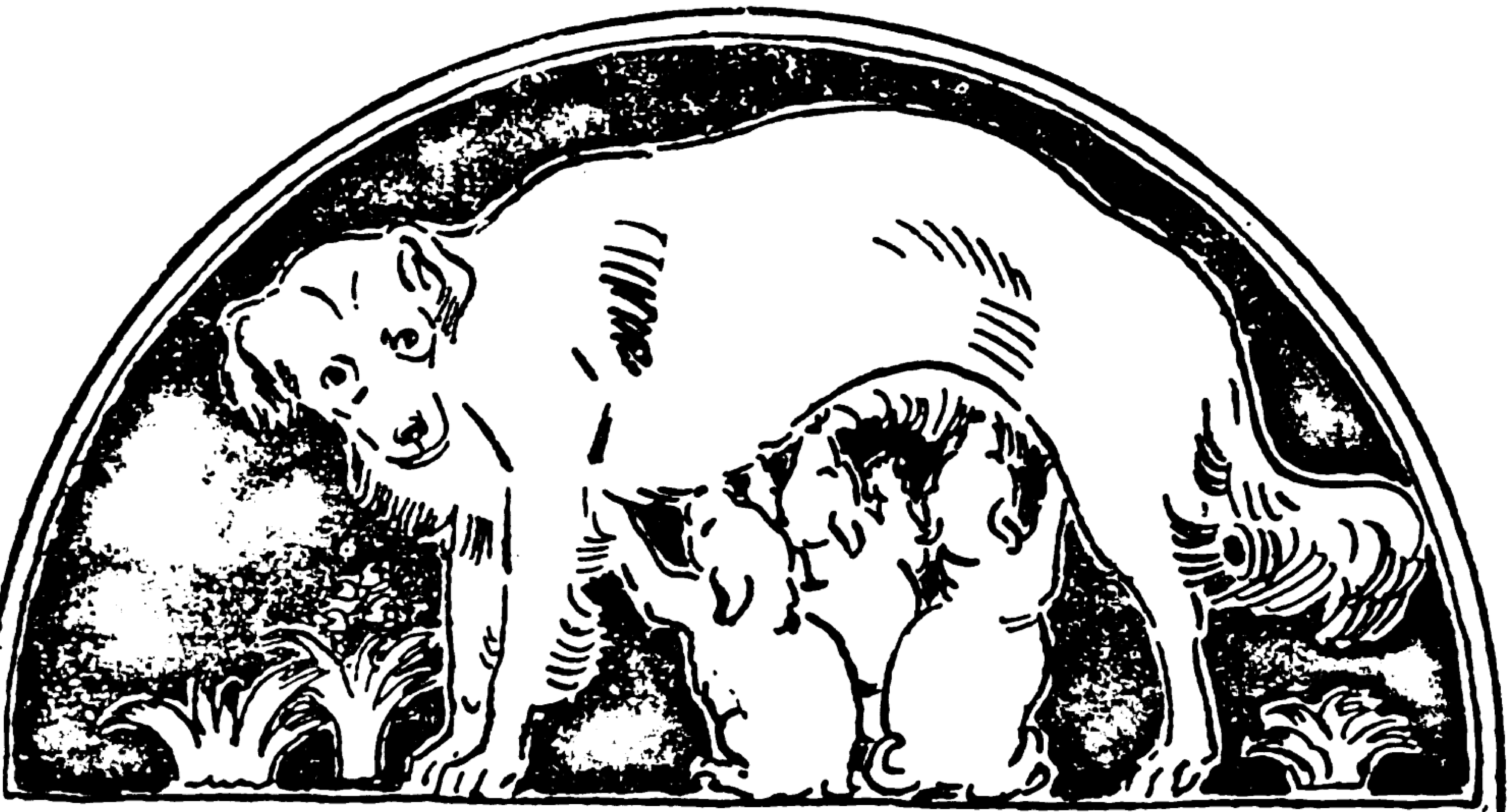
診察毎日午後　但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雜事婦

6—468
第十二巻 廓清 第一號

（大正七年十一月二日第三種郵便物認可
大正十一年一月十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上洲屋
警醒社、北隆館、夏明堂



謹んで年頭の御挨拶を申上ます

昨年中は非常なる御愛顧を辱うし厚く御禮を申上げます、尚ほ本年も一層御引立の程偏に御願ひ致します

◆三越の一月◆
◆新年初賣出し（四日より）
◆東京漫畫會展覧會（十四日より）
◆朱葉會油畫展覧會（同）
◆山澤弘光氏日本名所洋畫展覧會（廿二日より）
◆山田敬中氏作畫展覧會（同）
定休日◆一日、二日、三日◆十日◆二十五日◆◆

越

東京市 三越呉服店 駿河町

定價一册金二十錢